SHARP®

1ビットデジタルシステム

形名 SD-SG11（エス ディー エス ジー）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

1章　はじめに

2章　使う前の準備

3章　ＣＤ･ＭＤ･ラジオの聞きかた

4章　ＣＤやＭＤのいろいろな聞きかた

5章　ＭＤへの録音

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

6章 MDへのいろいろな録音

7章 MDの編集

8章 タイマーの使いかた

9章 他の機器との使いかた

10章 ご参考

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

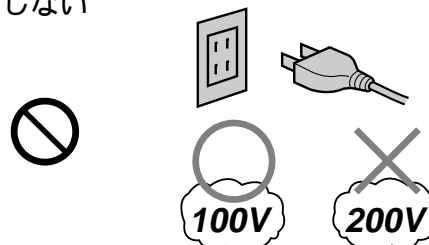
記号は してはいけないことを表しています。

記号は しなければならないことを表しています。

記号は 気をつける必要があることを表しています。

⚠ 警告

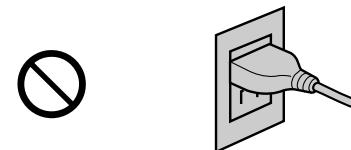
電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

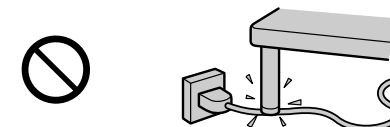
この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

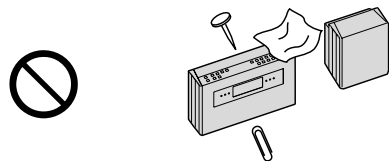
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

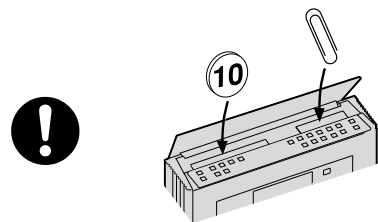
電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

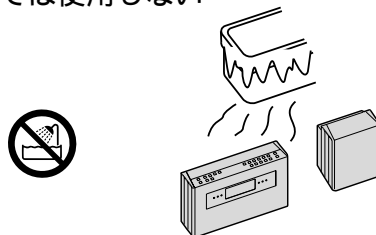
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

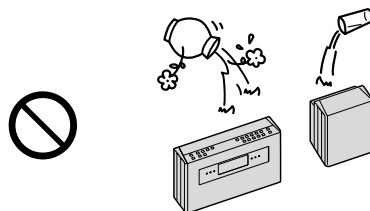
⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口など）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

この製品はCD・MDの挿入口が上を向いていますので、誤ってコインなどが入らないよう注意してください

火災・感電・故障の原因となります。

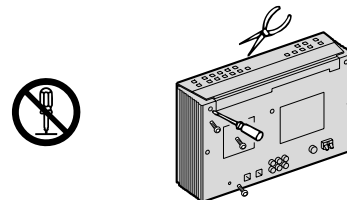
風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷について

雷が鳴りだしたら…
安全のため、早めに電源コードをコンセントから抜いてください

火災・感電・故障の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠注意

置き場所について

不安定な場所に置かない

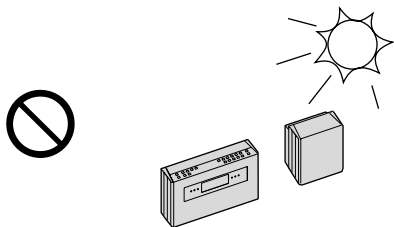
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

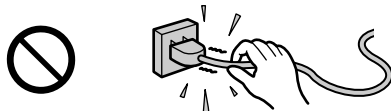
火災・事故の原因となることがあります。

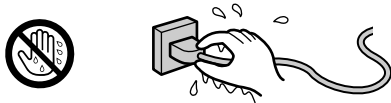
冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

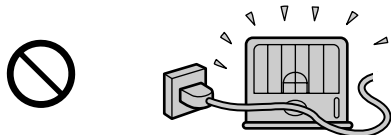
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

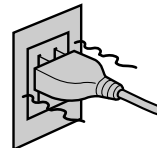
直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

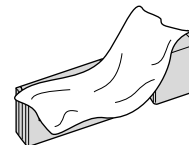
プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください

火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

製品の上に物を置かない

この製品の上に物を置かない

キャビネットが変形して、火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

⚠注意

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

専用のシステムについて

アンプ部とMD/CD/チューナー部は、このシステム専用で組み合わせてお使いください

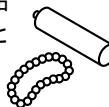
MD/CD/チューナー部

アンプ部

このシステムに別のアンプを使用したり、このアンプ部を他製品のアンプとしてお使いにならないでください。
故障の原因となります。
また、必ず付属のシステム接続用コードと音声接続用コードでつないでお使いください。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- ■新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない
- ■金属小物（かぎ・装飾品ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない
- ■水に濡らさない
- ■加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- ■分解しない
- ■ハンダ付けしない
- ■端子をショート（短絡）させない
- ■種類のちがう乾電池をまぜて使用しない
- ■充電池（ニカド電池等）は使用しない

- ■乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。

- ■乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。

もし、液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

外部アンテナの工事について

アンテナ工事には技術と経験が必要です。
また高いところでの作業は危険です。
取り付ける場合は販売店に相談してください。

- ● 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- ● 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- ● この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.82 ～ 83）
- ● お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

2.8224MHzのサンプリングにより、高解像度サウンドを実現する高性能１ビットアンプ搭載

アンプ部にはアナログ信号をデジタル信号に変換して増幅する、1ビットアンプを内蔵していますので、迫力のあるサウンドと高音質を楽しむことができます。

アンプ・トランス部分を独立させたセパレートタイプの薄型ニュースタイル＆マルチカラーディスプレイ

音の純度を高めるためにアンプ・トランス部分を独立させた設計としています。
また、７色の照明で表示部をファッショナブルに演出します。
（☞ P.21）

MDの２倍・４倍長時間録音・再生「MDLP」対応

高性能な圧縮・伸長処理により、標準録音の２倍・４倍の長時間録音がステレオで可能となり、１枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。
（☞ P.42）

CD→MD倍速編集＆充実した編集機能

CDからMDへ、倍速で録音ができます。（☞ P.42～43）

ハイパートラックエディット、トップポジションエディットによる録音が可能です。（☞ P.49～50）

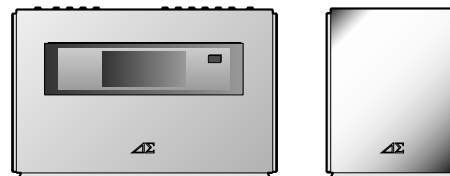
デジタル録音レベルコントロールにより、CS放送（デジタル入力時）やCDの録音レベルをデジタル信号のまま調整できます。
（☞ P.44、P.72）

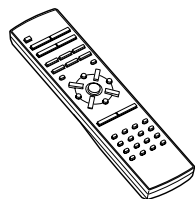
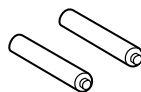
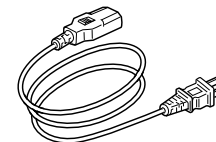
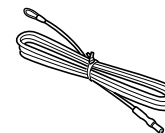
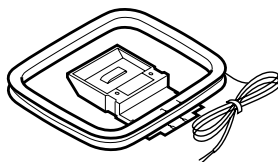
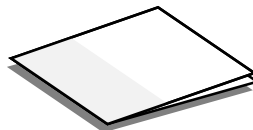
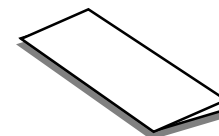
ラウドネス回路内蔵

（☞ P.35）

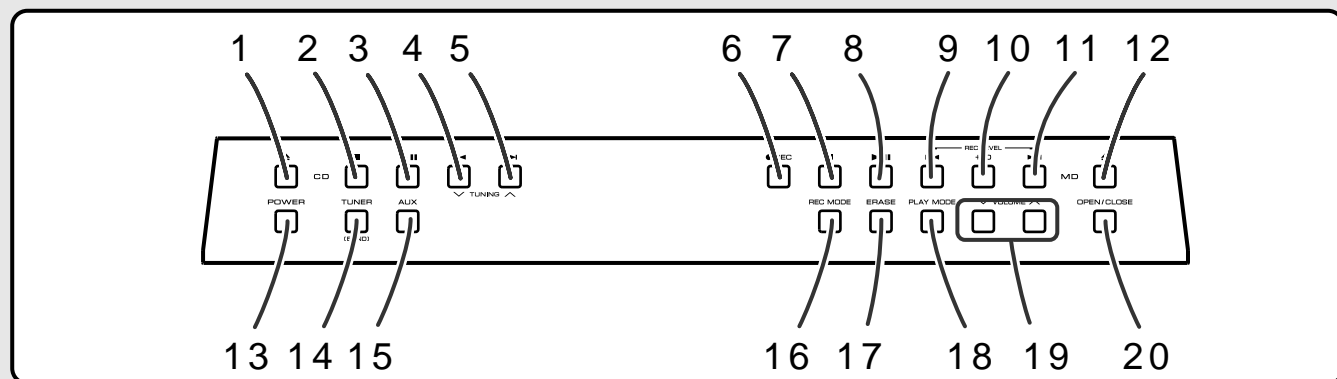
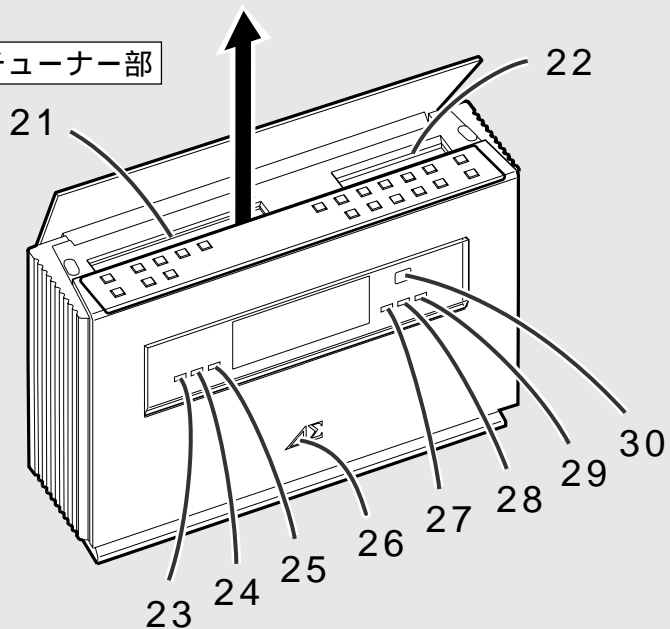
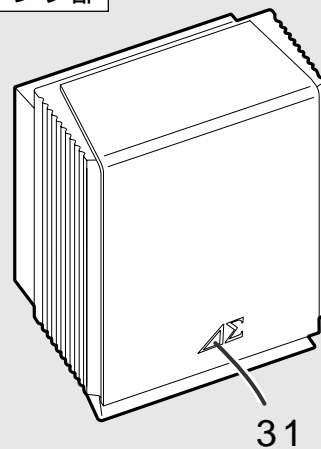
CD TEXT（テキスト）対応

マークがついているCDは、ディスク名や曲名などを表示することができます。（☞ P.25）

また、CDからMDに録音中に、曲名をコピーすることもできます。
（☞ P.51）

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

● この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

各部のなまえ

■ 表示部の説明 ☞ P.12

MD/CD/チューナー部

参照ページ

1. CD取り出しボタン(⏏)........................ 26
2. CD停止ボタン(CD ■)........................ 25
3. CD再生/一時停止ボタン(CD ▶II)........................ 25
4. チューニング/CD早戻しボタン
   (﹀ TUNING / I◀◀)........................ 25、32
5. チューニング/CD早送りボタン
   (TUNING ︿ / ▶▶I)........................ 25、32
6. MD録音ボタン(● REC)........................ 44
7. MD停止ボタン(MD ■)........................ 29
8. MD再生/一時停止ボタン(MD ▶II)........................ 29
9. 録音レベル/MD早戻しボタン(I◀◀)........................ 29、44
10. +10曲頭出しボタン(+10)........................ 29
11. 録音レベル/MD早送りボタン(▶▶I)........................ 29、44
12. MD取り出しボタン(⏏)........................ 30
13. 電源ボタン(POWER)........................ 25
14. チューナー/バンド切換ボタン(TUNER/BAND)........................ 32
15. 補助入力(AUX)........................ 71
16. 録音モード切換ボタン(REC MODE)........................ 42
17. 消去ボタン(ERASE)........................ 62
18. 再生モード切換ボタン(PLAY MODE)........................ 37
19. 音量ボタン(VOLUME ﹀ / ︿)........................ 35

参照ページ

20. CD/MDカバー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)........................ 25、29
21. CD挿入口........................ 24
22. MD挿入口........................ 28
23. タイマー表示(TIMER)........................ 66
24. スリープ表示(SLEEP)........................ 68
25. モノラル録音表示(MONO)........................ 42
26. 電源表示ランプ
27. ステレオ録音表示(SP)........................ 42
28. 2倍長時間録音表示(LP 2)........................ 42
29. 4倍長時間録音表示(LP 4)........................ 42
30. リモコンセンサー........................ 20

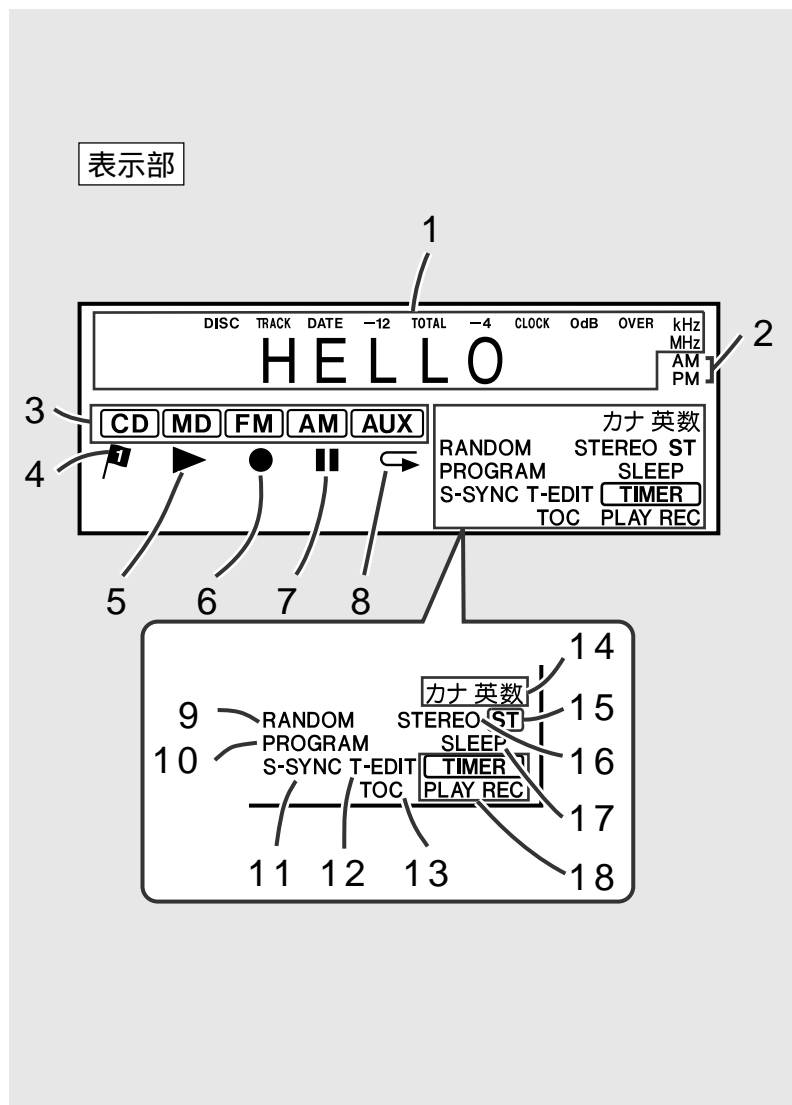
アンプ部

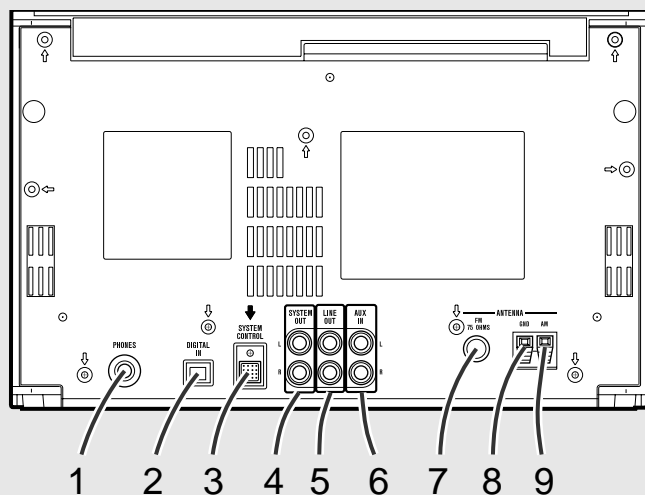
31. 電源表示ランプ

■ 背面の説明 ☞ P.13

各部のなまえ（続き）

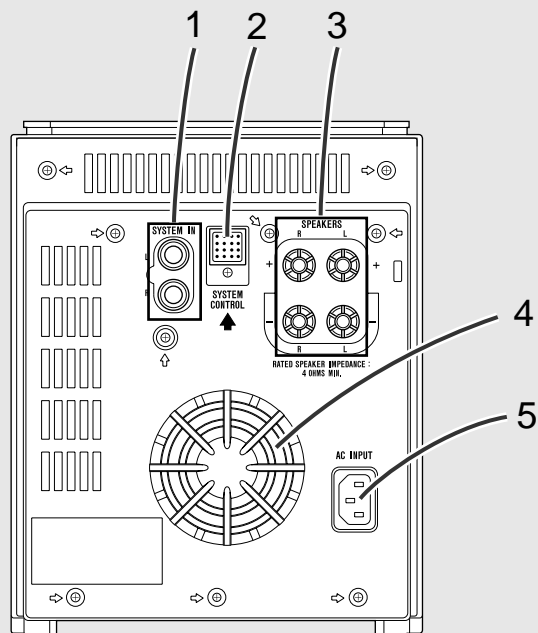
表示部

参照ページ

1. レベルメーター / 文字情報 / 周波数表示 27
2. 午前／午後表示（AM/PM）.......... 23
3. 入力切換表示（CD/MD/FM/AM/AUX（オグジュアリー））.......... 25、29、32、71
4. トップポジション録音表示（ ）.......... 50
5. CD/MD 再生表示（▶）
6. 録音表示（●）.......... 43
7. 録音一時停止表示（II）.......... 46
8. リピート表示（ ）.......... 37
9. ランダム表示（RANDOM（ランダム））.......... 37
10. プログラム表示（PROGRAM（プログラム））.......... 38
11. サウンドシンクロ録音表示（S-SYNC（サウンド シンクロ））
12. トラックエディット表示（T-EDIT（トラック エディット））.......... 49
13. トック表示（TOC（トック））.......... 41
14. カナ／英数表示 .... 54、55
15. FM ステレオ受信表示（ST）.......... 33
16. FM ステレオモード表示（STEREO（ステレオ））.......... 33
17. スリープ表示（SLEEP（スリープ））.......... 68
18. タイマー再生／タイマー録音表示
（TIMER（タイマー） PLAY（プレイ）/TIMER（タイマー） REC（レコード））.......... 66

MD/CD/ チューナー部背面

参照ページ

1. ヘッドホン端子（PHONES［ホーンズ］）.. 70
2. デジタル入力端子（DIGITAL IN［デジタル インプット］）.................................. 70
3. システムコントロール端子（SYSTEM CONTROL［システム コントロール］）............ 18
4. システム出力端子 （SYSTEM OUT［システム アウトプット］）................................. 18
5. ライン出力端子（LINE OUT［ライン アウトプット］）.. 70
6. 補助入力端子（AUX IN［オグジュアリー インプット］）.. 70
7. FM アンテナ端子（FM 75 OHMS［オーム］）................................ 17
8. AM アース端子（GND［グランド］）.. 17
9. AM アンテナ端子（AM）.. 17

各部のなまえ（続き）

アンプ部背面

参照ページ

1. システム入力端子（SYSTEM IN）............ 18
2. システムコントロール端子（SYSTEM CONTROL）............ 18
3. スピーカー端子（SPEAKERS）............ 17
4. 空冷ファン 19
5. AC 電源端子（AC INPUT）............ 18

リモコン

※ はリモコンだけの操作ボタンです。

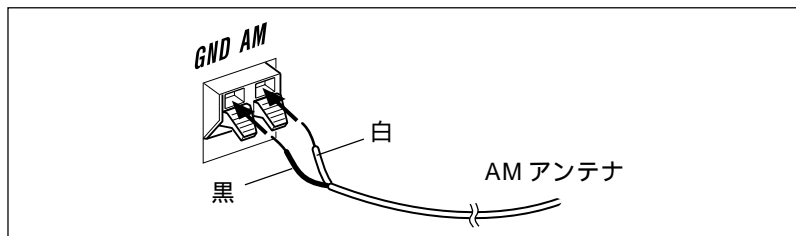
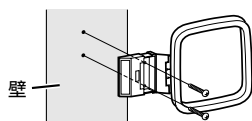
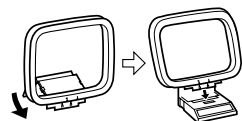
参照ページ

■ リモコン用乾電池の入れかた ☞ P.20

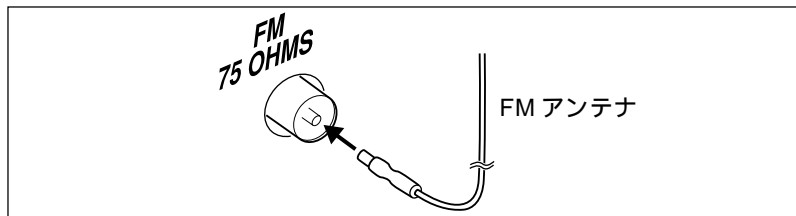
システムを接続する

1 AM アンテナをつなぐ
（☞ P.17）
放送が最もきれいに聞
こえる方向にします
2 FM アンテナをつなぐ
（☞ P.17）
画びょうなど
放送が最もきれいに聞
こえる位置に画びょう
などで固定する
3 スピーカーをつなぐ
（☞ P.17）
4 MD/CD/ チューナー部と
アンプ部をつなぐ
（☞ P.18）
5 電源コードをつなぐ
（☞ P.18）
家庭用コンセントに差し込む
(100V AC、50/60Hz)

1 AM アンテナをつなぐ

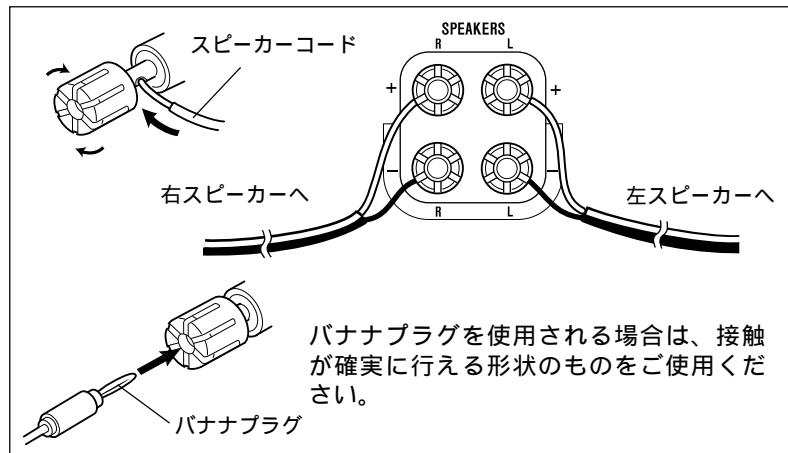
AM アンテナのコードを、AM アンテナ端子へつなぎます。

2 FM アンテナをつなぐ

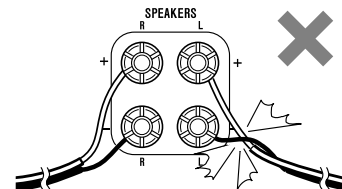
FMアンテナのコネクターをFM75 OHMS端子に差し込みます。

ご注意

FM・AM アンテナは、アンプ部や MD/CD/ チューナー部、電源コード、スピーカーコードから離してください。
近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

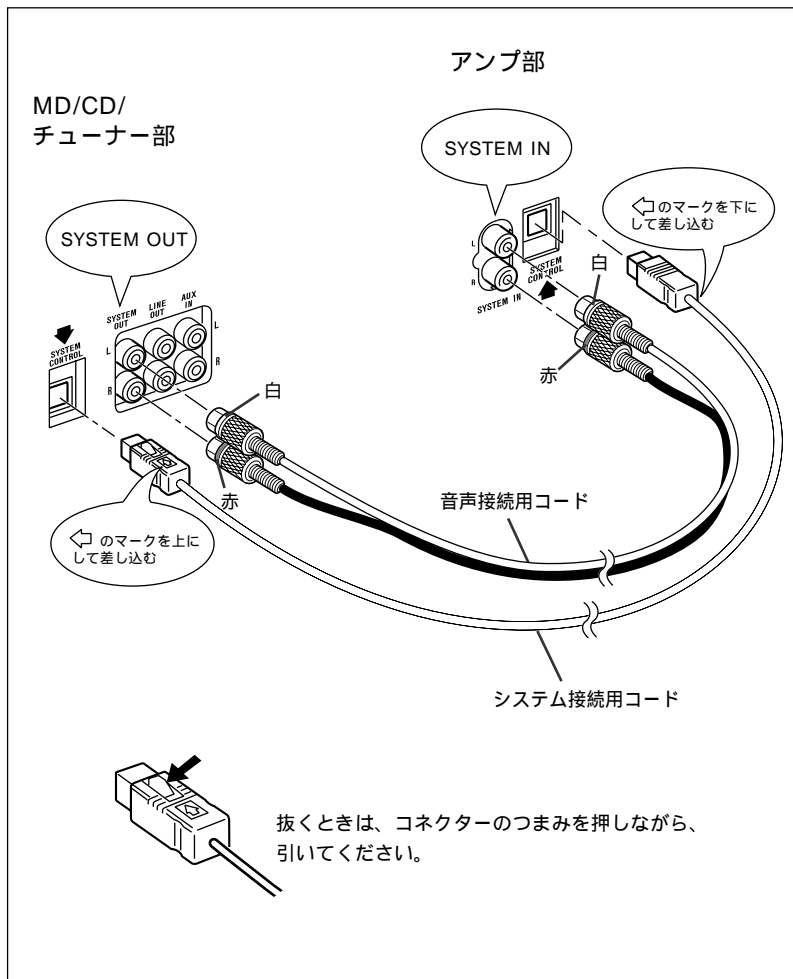
3 スピーカーをつなぐ

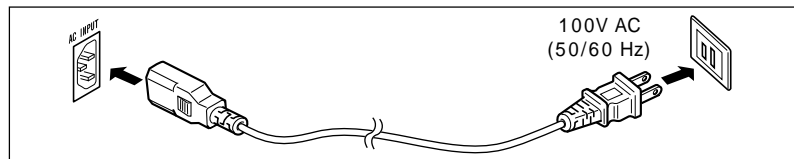
アンプ部とスピーカーをつなぎます。

スピーカー側を先に接続し、そのあとアンプ側を接続してください。
スピーカーシステムの最大入力は 50W 以上、インピーダンスは４〜８Ωのものをご使用ください。
インピーダンスが４Ω未満のスピーカーシステムを接続されたり、過大な音量で使用された場合は、大音量時にアンプの保護回路が働き、電源が切れる場合があります。

ご注意

- スピーカーの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- スピーカーコードの⊕（プラス）と⊖（マイナス）、左と右チャンネルをまちがえないようにつないでください。
- スピーカーコードをショートさせないでください。電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れます。このときは、スピーカーコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源を入れてください。

システムを接続する（続き）

4 MD/CD/チューナー部とアンプ部をつなぐ

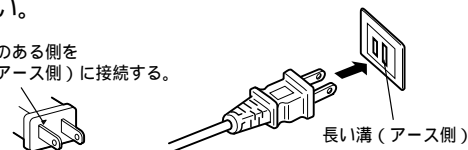
付属の音声接続用コードとシステム接続用コードで、MD/CD/チューナー部とアンプ部をつなぎます。

5 電源コードをつなぐ

電源コードをAC電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

ご注意

- 付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

電源の極性管理について

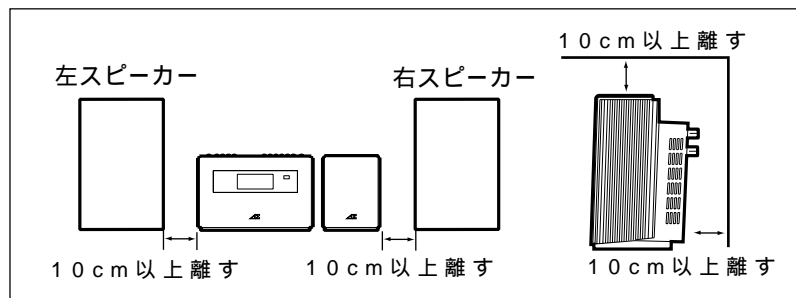
この製品は、電源の極性管理をしています。より良い音質を得るために、接続する機器と、この製品の電源極性を合わせることをおすすめします。

- 極性管理がされている家庭用電源コンセントに接続する場合は、長い溝（アース側）に、この製品の極性表示（アース側）が合うように接続してください。

- 極性管理されていない電源コンセントに接続する場合は、電源コードのプラグを逆に差し換えてみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

節電のために

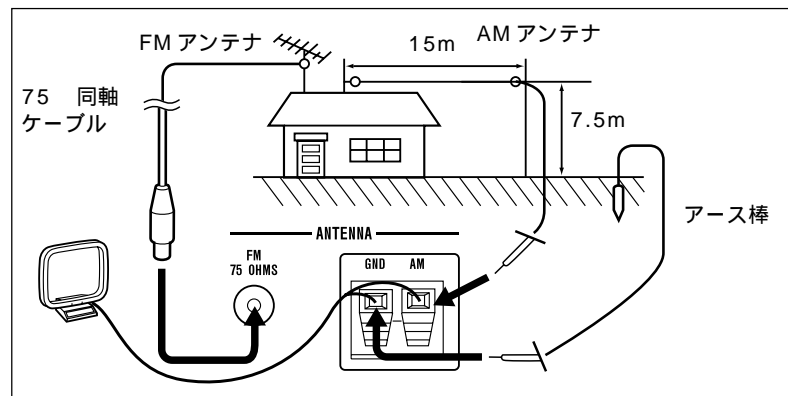
- 旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。
  電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

設置について

この製品の背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、システムの間は少し離して置き、壁からも 10cm 以上離して置いて下さい。

ご注意

- アンプ部の背面には､放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。この空冷ファンは､電源を入れると自動的に回転するようになっています。ファンの部分を物でふさがないように注意してください。
- この製品は、 5℃~ 35℃の場所でお使いください。
- この製品をテレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、できるだけ離してください。

屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。

- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- AM 用外部アンテナを接続するときは、AM 用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

屋外アンテナの設置場所について

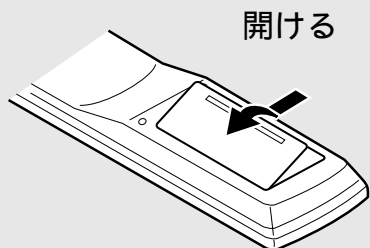
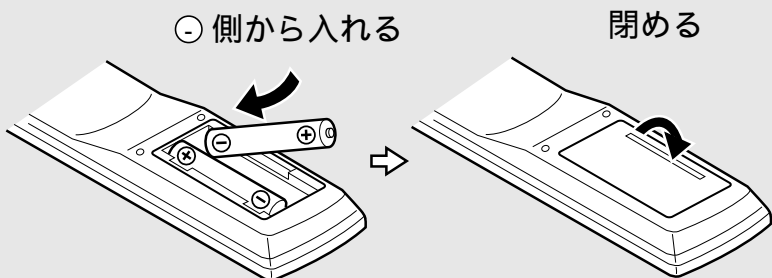
- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれらが見えない所に立てるようにしてください。
- 送電線の下には立てないでください。
  送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますので､あまり高い所には立てないでください。

アース棒について

アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。危険ですので、ガス管にはつながないでください。

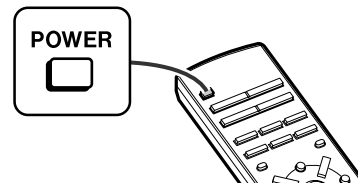
リモコンの準備をする

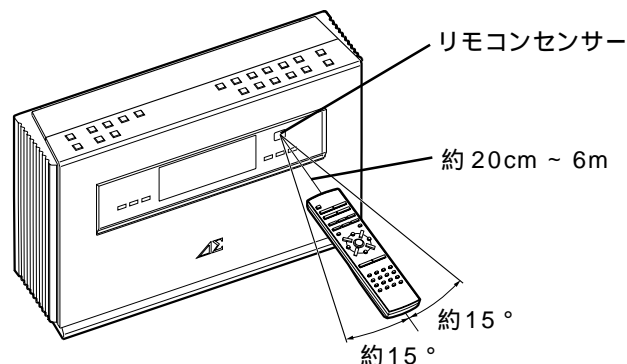
乾電池を入れる

1 フタを開ける。

2 単 4 乾電池を 2 本入れる。

ご注意

- 乾電池の方向に注意して入れてください。
  ⊕⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。

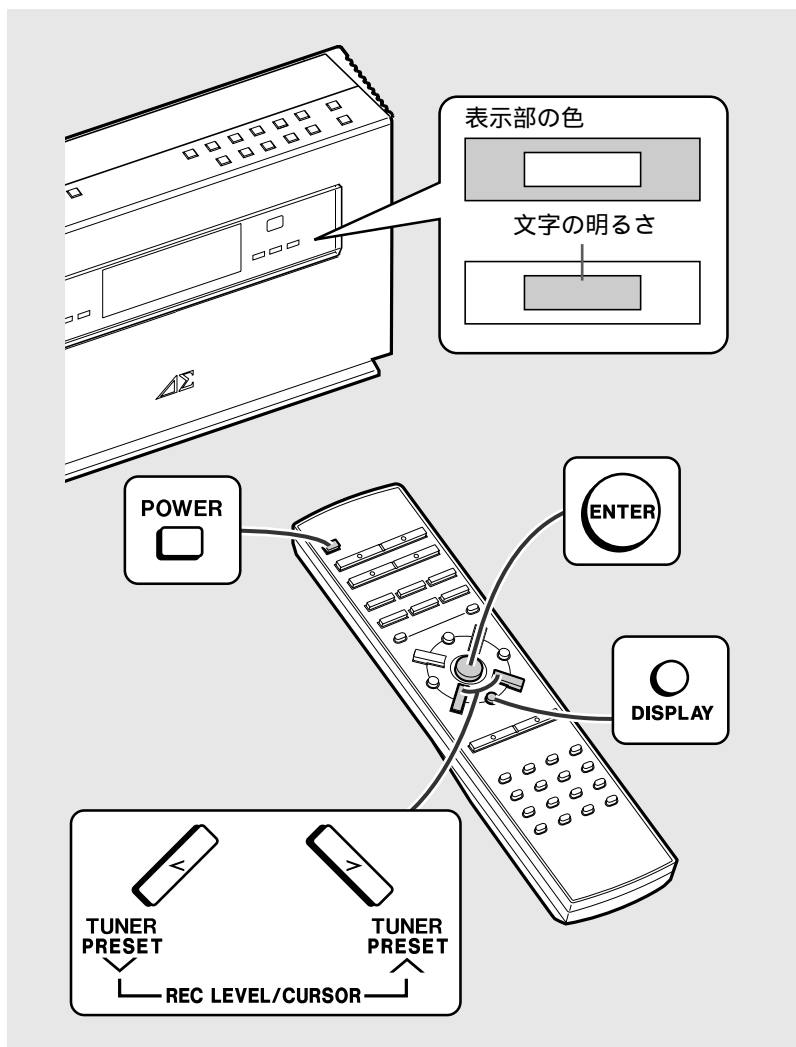
リモコンのテスト

リモコンを本体に向けて…

電源表示ランプが点灯します。
電源が入らないときは、電源コードやシステム接続用コードが正しくつながっているか、乾電池が正しく入っているか、確認してください。

リモコンの使える範囲（目安）

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約 1 年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

ご注意

- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。
  リモコン操作ができなくなることがあります。

表示部の色や文字の明るさを変える

表示部の色を変えるには

7 色の中からお好みの色を選んで、変えることができます。

❶ POWER を押し、電源を入れる。

❷ DISPLAY を 2 秒以上押す。

Color Change

❸ ＜ または ＞ を押して、“ Color(カラー) Change(チェンジ) ” を選ぶ。

❹ ENTER を押し、＜ または ＞ で色を選ぶ。

COLOR(カラー)1 から COLOR(カラー)7 の 7 色の中からお好みの色を選ぶことができます。

❺ ENTER を押す。

文字の明るさを変えるには

暗くするとき

❶ POWER を押し、電源を入れる。

❷ DISPLAY を 2 秒以上押す。

Color Change

❸ ＜ または ＞ を押して、“ DIMMER(ディマー) ON(オン)？ ” を選ぶ。

DIMMER ON?

❹ ENTER を押す。（色の照明が消灯し、文字が暗くなります。）

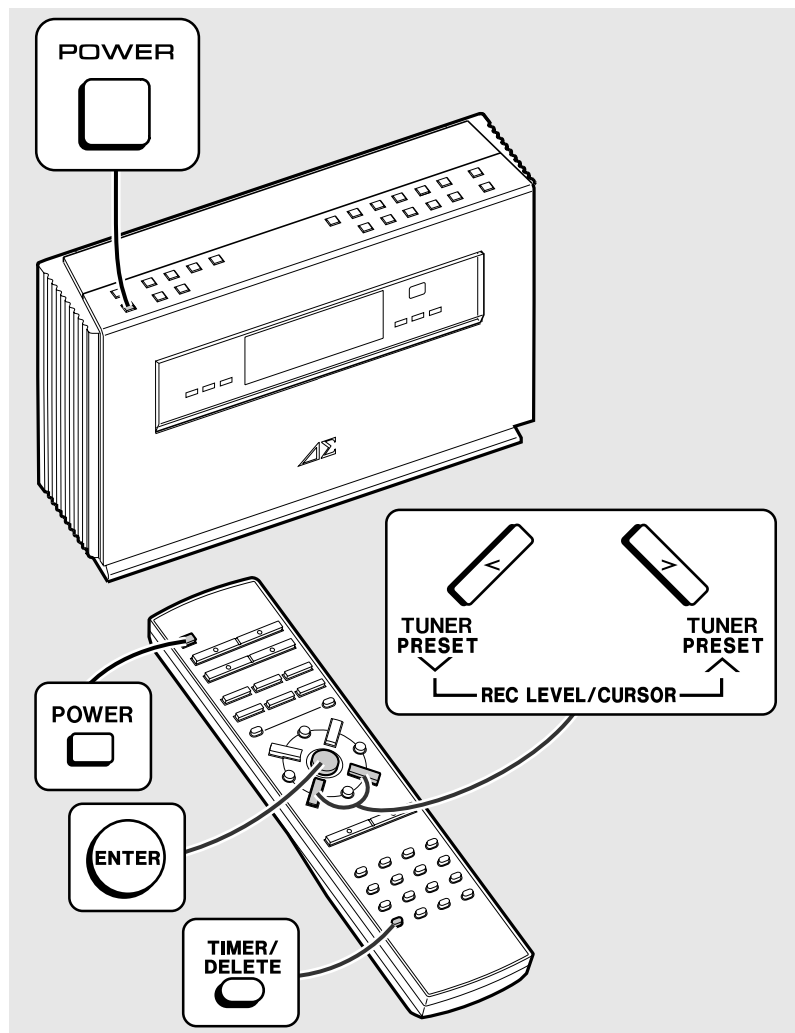
明るくするとき

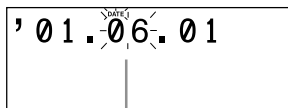
DIMMER OFF?

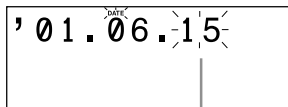
❶ DISPLAY を 2 秒以上押す。

❷ ENTER を押す。（色の照明が点灯し、文字が明るくなります。）

時計を合わせる

日付・時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生やタイマー録音、MD の録音日時の記録ができるようになります。

（例）2001 年 6 月 15 日　午前 9 時 30 分に合わせるとき

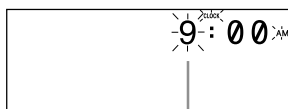
6 または を押して「月」を合わせ、ENTER を押す。

「月」を合わせる

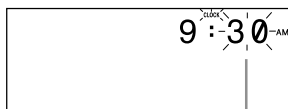
7 または を押して「日」を合わせ、ENTER を押す。

「日」を合わせる

8 または を押して「時」を合わせ、ENTER を押す。

「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。午前（AM）／午後（PM）の表示に注意してください。

AM 0：00→夜の12時
PM 0：00→昼の12時

9 または を押して「分」を合わせ、ENTER を押す。

約1.5秒たつと、もとの表示に戻ります。

「分」を合わせる

時刻を確認するには

電源"OFF（オフ）"のときは…

DISPLAY を押す。

時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源"ON（オン）"のときは…

❶ リモコンの TIMER/DELETE を押す。

❷ 10秒以内に… または を押して、時刻を表示させる。

約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

時刻を修正するには

操作1からやり直してください。

このとき、操作2では"SLEEP（スリープ）"のかわりに"STANDBY（スタンバイ）"と表示されます。

また、操作3では"TIME ADJUST（タイム アジャスト）"のかわりに現在の設定時刻が表示されます。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。

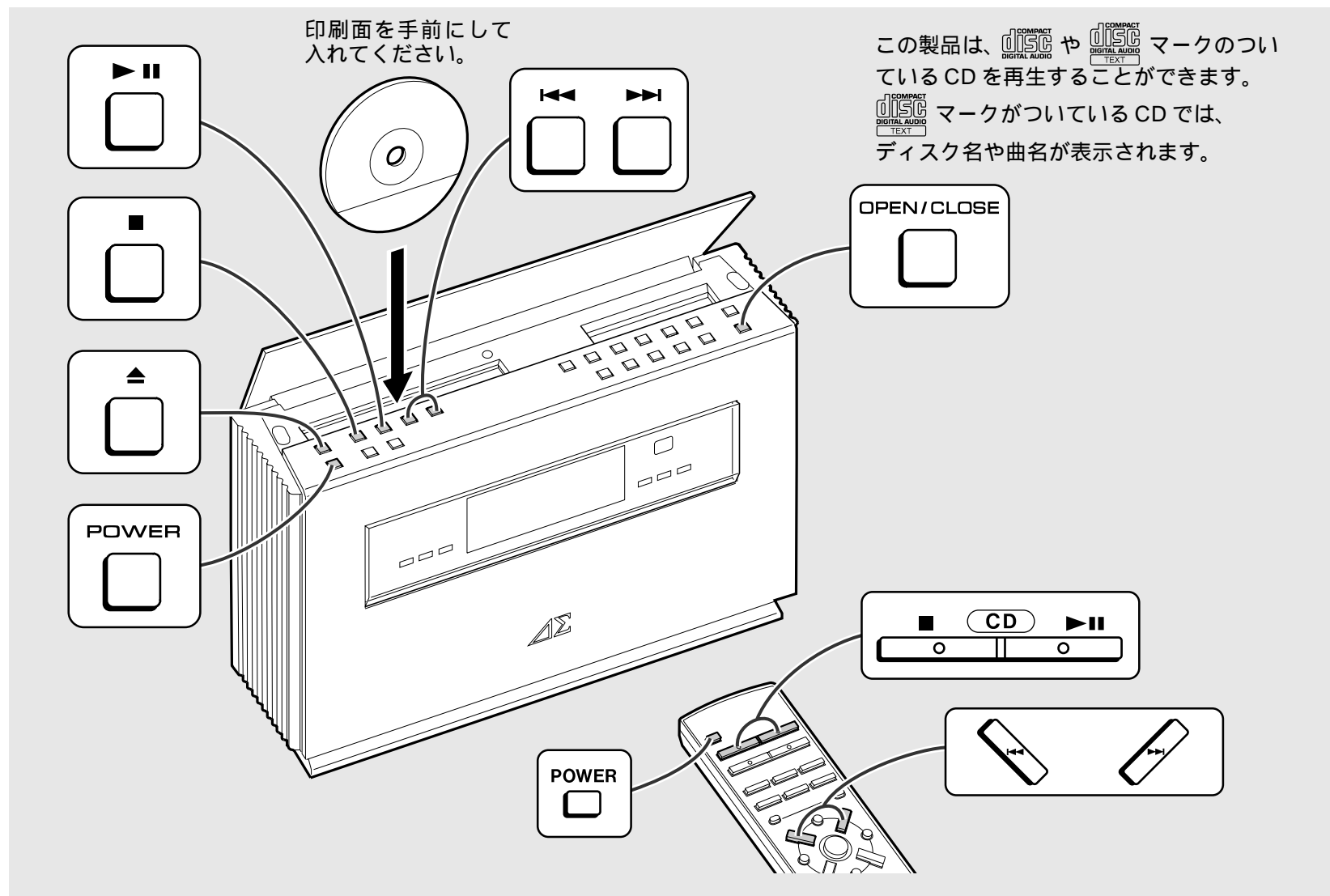
時計を合わせ直してください。

お知らせ

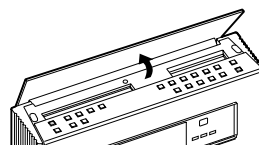
この製品の時計（年・月・日）は、2001年1月1日〜2049年12月31日まで対応しています。

CDを聞く

■ 音量や音質を調整するには ☞ P.35

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

CD NO DISC
CD

3 OPEN/CLOSE を押す。

CD/MD カバーが開きます。

4 CD を入れる。

CD を挿入口に入れると、CD は自動的にセットされます。

（ディスク名が記録されている CD のみ表示されます。）

5 CD ►II を押して、再生を始める。

- CD/MD カバーは自動的に閉じます。
- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

停止するには

再生中に… CD ■ を押す。

一時停止するには

再生中に… CD ►II を押す。

もう一度押すと、止めた位置から再生します。

曲の頭出しをするには

今の曲の頭から再生するには	次の曲の頭から再生するには
再生中に… ⏮ を 1 回押す。	再生中に… ⏭ を 1 回押す。
前の曲番を選ぶには	**次の曲番を選ぶには**
停止中に… ⏮ を押す。押し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	停止中に… ⏭ を押す。押し続けると、次々と後の曲番へ移動します。

停止中に聞きたい曲番を表示させたあと再生を始めると、その曲の最初から再生を始めます。

お知らせ

- CD-R ディスクは、録音した機器やディスクの状態によって、再生できないことがあります。
- この製品で、CD-RW ディスクを再生することはできません。

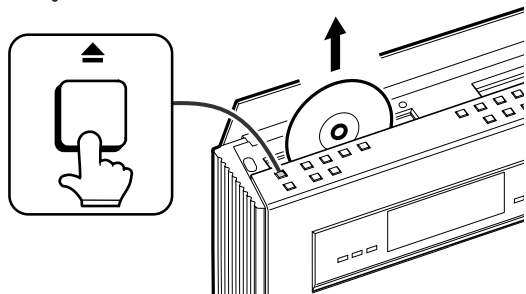
■ CD を取り出すには ☞ P.26

CDを聞く（続き）

CDを取り出すには

CDを停止させたあと、CD ⏏ を押す。

CD/MDカバーは自動的に開きます。

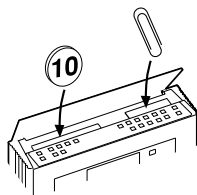
- CDが出た状態から再度入れるときは、CDをいったん取り出して、入れ直してください。
- 8cmCDの場合は、CD ⏏ を2回押すと、もう少し出てきます。
- CDを取り出すとき、やむをえずCDの信号面に触れて、汚れがついたときは、「CDのお手入れ」(☞ P.73)をごらんのうえふきとってください。

CDを取り出したあとは…

OPEN/CLOSE を押して、CD/MDカバーを閉じておいてください。

CD/MDカバーが開いているときに、電源を切るとCD/MDカバーは閉じます。

ご注意

CD・MDの挿入口は上を向いていますので、誤ってコインなどが入らないよう注意してください。
また、ホコリなどが入らないためにも、使わないときはCD/MDカバーを閉じておいてください。

ご注意

- CD/MDカバーは、手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。故障の原因となります。
  また、開閉中に指などをはさまないよう注意してください。
- CDを入れるときは、必ず電源を入れてください。
  電源が切れているときに、無理にCDを押し込むと、故障の原因となります。
- CDを入れるときや取り出すときは、CDを傷つけないようご注意ください。
- 製品を移動させるときは、必ずCDを取り出してください。
  CDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

- 特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは、使用しないでください。
  故障の原因となります。

- セロハンテープやラベルなどののりがはみだしたり、はがしたあとがあるものは使用しないでください。

お知らせ

- 本体に衝撃を与えたり、振動しやすい場所で使うと、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- CDの内容によっては、音量の上げすぎで音とびを起こすこともあります。そのときは、音量を少し下げてお聞きください。
- キズがついていたり、汚れているCDを使うと、音とびの原因となります。
- CDを入れて“Can't（キャント） READ（リード） ※”などのメッセージが表示されたときは、「こんな表示が出たときは」をごらんください。（☞ P.78）

■ 再生中の時間表示 ☞ P.27

再生中に時間表示を切り換えるには

（ランダム再生中は、表示しません。）

再生中に曲名表示やレベルメーターに切り換えるには

CD の再生中に…

リモコンの DISPLAY をくり返して押す。

曲名が記録されているCDのみ表示されます。

● レベルメーターの表示にすると、再生中はその表示になります。

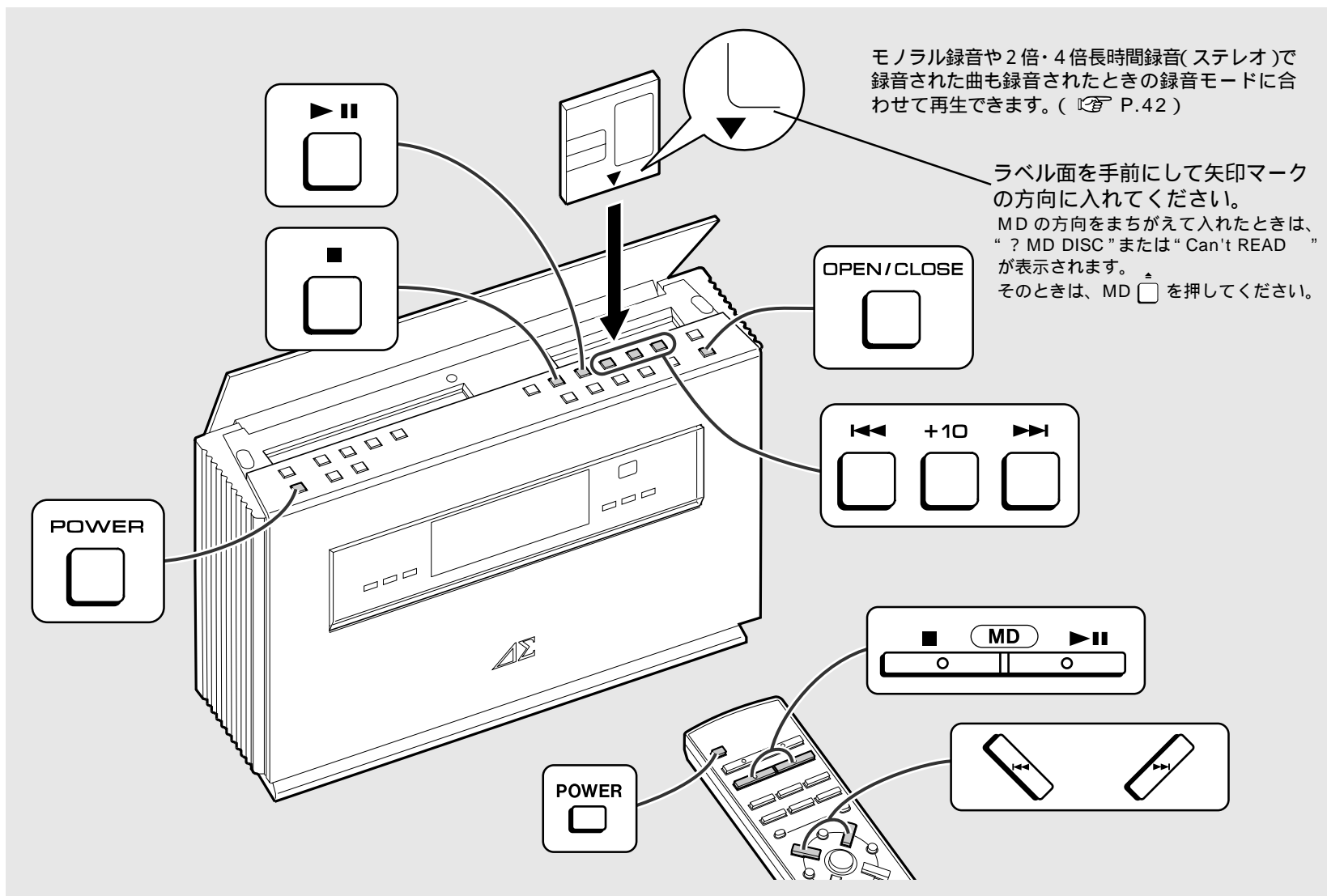
お知らせ

● ジャケットなどに記載されている再生時間には､曲間の無音時間が含まれていないものもあります。
そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
● 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

お知らせ

ひらがなや漢字で入力されている CD は、ディスク名や曲名は表示されません。

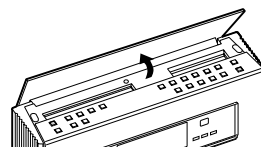
MDを聞く

■ 音量や音質を調整するには ☞ P.35

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 MD ■ を押して、入力を「MD」にする。

MD NO DISC
MD

3 OPEN/CLOSE を押す。

CD/MD カバーが開きます。

4 MD を入れる。

MDを挿入口に入れて軽く押すと、MDは自動的にセットされます。

（ディスク名が記録されている
MD のみ表示されます。）

5 ►II を押して、再生を始める。

- CD/MD カバーは自動的に閉じます。
- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

停止するには

再生中に… MD ■ を押す。

一時停止するには

再生中に… MD ►II を押す。

もう一度押すと、止めた位置から再生します。

曲の頭出しをするには

今聞いている曲の頭から再生するには	次の曲の頭から再生するには
再生中に… ⏮ を 1 回押す。	再生中に… ⏭ を 1 回押す。
前の曲番を選ぶには	**次の曲番を選ぶには**
停止中に… ⏮ を押す。 押し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	停止中に… ⏭ を押す。 押し続けると、次々と後の曲番へ移動します。

停止中に聞きたい曲番を表示させたあと再生を始めると、その曲の最初から再生を始めます。

10 曲以上後の曲番を選ぶには

再生中または停止中に…

❶ +10 を押して、10 曲ずつ進めることができます。

❷ ⏮ または ⏭ で 1 曲ずつ前後できます。

例）5 曲目を聞いているときに、27 曲目に移動するときは

+10 → +10 → ⏭ → ⏭

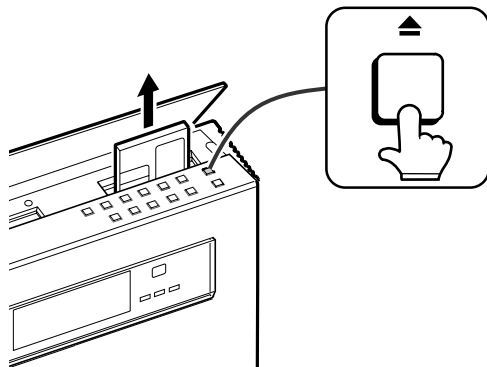
5 曲目 →（15 曲目）→（25 曲目）→（26 曲目）→（27 曲目）

■ MD を取り出すには ☞ P.30

MD を聞く（続き）

MD を取り出すには

MD を停止させたあと、MD ⏏ を押す。

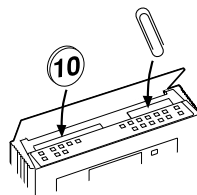
CD/MD カバーは自動的に開きます。

MD を取り出したあとは…

OPEN/CLOSE を押して、CD/MD カバーを閉じておいてください。

CD/MD カバーが開いているときに、電源を切ると CD/MD カバーは閉じます。

ご注意

CD・MD の挿入口は上を向いていますので、誤ってコインなどが入らないよう注意してください。
また、ホコリなどが入らないためにも、使わないときは CD/MD カバーを閉じておいてください。

ご注意

- CD/MD カバーは、手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。
  故障の原因となります。
- MD を入れるときは、必ず電源を入れてください。
  電源が切れているときに、無理に MD を押し込むと、故障の原因となります。
- 製品を移動させるときは、必ず MD を取り出してください。
  MD が製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

お知らせ

- 使用中は、MD が温かくなりますが、異常ではありません。
- MD は振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。
- MD を操作中に“Can't（キャント） READ（リード） ※”などのメッセージが表示されたときは、「こんな表示が出たときは」をごらんください。（☞ P.78）

■ 再生中の時間表示 ☞ P.31

再生中に時間表示を切り換えるには

再生中に…

リモコンの をくり返して押す。

（ランダム再生中は、表示しません。）

お知らせ

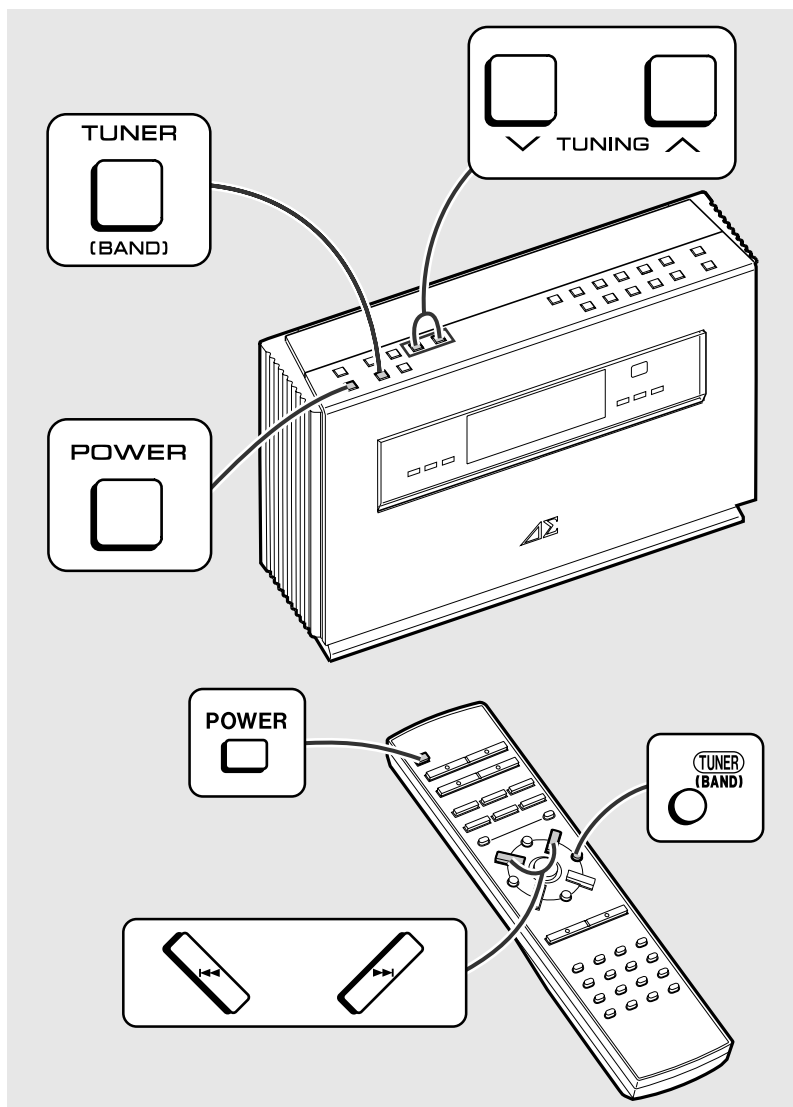
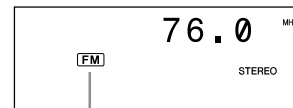
- ジャケットなどに記載されている再生時間には､曲間の無音時間が含まれていないものもあります。
  そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

再生中に曲名表示やレベルメーターに切り換えるには

お知らせ

- レベルメーターの表示にすると､再生中はその表示のままになります。
- MD を取り出すと、もとの表示に戻ります。
- [文字情報 英語] マークがついている再生専用 MD（市販の音楽ソフトなど）は、ディスク名や曲名などの文字情報が表示されます。
- 再生専用MDは､録音残り時間・録音日・録音時刻は表示されません。
- ひらがなや漢字で入力されている MD は、曲名は表示されません。

ラジオ放送を聞く

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 TUNER (BAND) を押して、「FM STEREO」、「FM」または「AM」を選ぶ。

3 ∨ TUNING ∧ を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを 0.5 秒以上押して離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調：ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

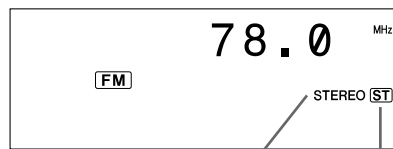
テレビ音声は次の周波数で受信できます。

1 チャンネル	：	FM 95.75MHz
2 チャンネル	：	FM 101.75MHz
3 チャンネル	：	FM 107.75MHz

リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンでも、放送局を選ぶことができます。

■ 音量や音質の調整 ☞ P.35

FM ステレオ放送を受信するには

TUNER (BAND) を押して、“ STEREO ” 表示を点灯させる。

STEREO FMステレオモード表示　ST FMステレオ受信表示

STEREO 表示（点灯）	FM ステレオモードです。
STEREO 表示（消灯）	FM モノラルモードです。

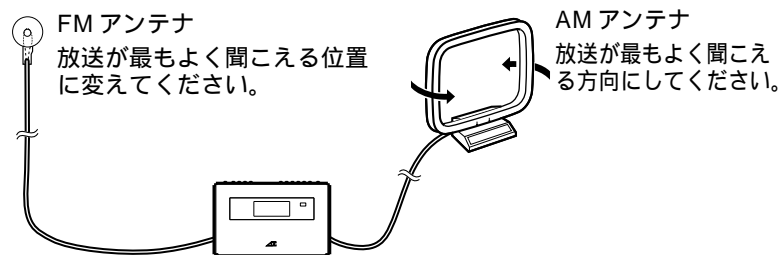
FM ステレオ放送を受信すると “ ST ” 表示が点灯します。

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ ST ”が点灯しません。
このときは、音が出ませんので、FM モノラルモードに切り換えて受信してください。

アンテナを調整するには

FM アンテナ
放送が最もよく聞こえる位置に変えてください。

AM アンテナ
放送が最もよく聞こえる方向にしてください。

ご注意

FM・AM アンテナは、アンプ部や MD/CD/ チューナー部、電源コード、スピーカーコードから離してください。
近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

お知らせ

- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は､FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの 2 または 3 チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声や AM 放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
- テレビ音声を受信中に“ ブー ”という音がしたり､同調が不安定になったときは、アンテナを再度調整してください。
- 日本国内の FM 放送は、76 ～ 90MHz が使用されていますが、この製品はテレビ音声を受信するために､108MHzまで受信することができます。

■ 放送局の登録 ☞ P.34

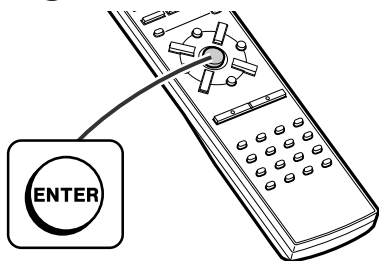
放送局を記憶させて聞く

放送局を登録するには

放送局は、AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

1 登録したい放送局を受信する。

FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

2 リモコンの ENTER を押して、登録モードにする。

3 5 秒以内に…

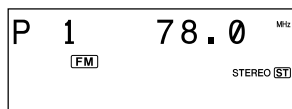
リモコンの TUNER PRESET ∨ TUNER PRESET ∧ を押して、登録する番号を選ぶ。

登録する番号

4 5 秒以内に…

リモコンの ENTER を押す。

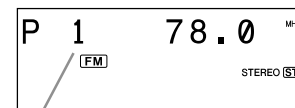
P 1 78.0 MHz FM STEREO ST

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。

登録した放送局を呼び出すには

1 電源を入れて…

TUNER (BAND) を押す。

2 TUNER PRESET ∨ TUNER PRESET ∧ を押して、登録した番号を選ぶ。

登録番号

リモコンのダイレクトボタンを使うと便利

■ 1 ～ 10 局目… 1 ～ 10/0 で登録した番号を選ぶ。

■ 11 ～ 40 局目… >10 を押したあと、登録した番号を選ぶ。

例）28 局目 >10 → 2 8

ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

登録した放送局をすべて消すには

❶ リモコンの CLEAR を 3 秒以上押す。

“ TUNER CLEAR ” が表示されます。

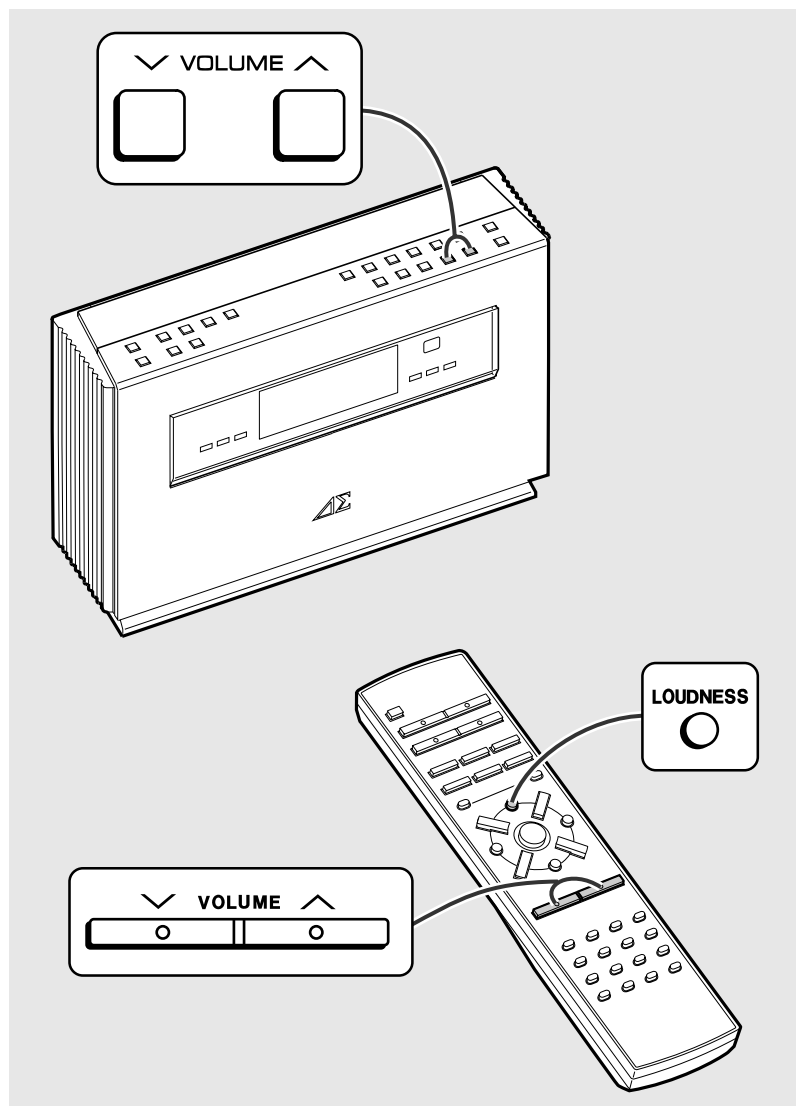
❷ リモコンの ENTER を押す。

ご注意

1 日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。

そのときは、もう一度登録し直してください。

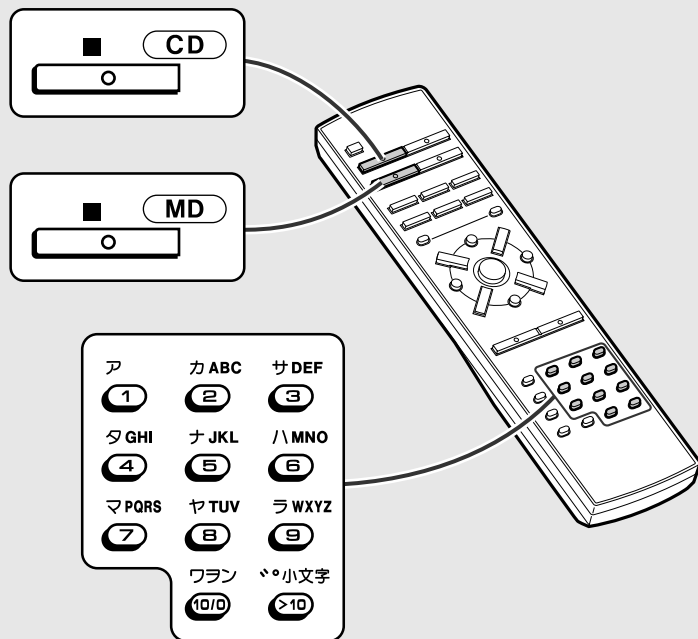
■ ラジオ放送の受信 ☞ P.32

音量や音質を調整する

音量を調整する　（ボリューム）

低音と高音を強調する　（ラウドネス）

リモコンの LOUDNESS をくり返し押す。

表示	
OFF	
⇩ 5 秒以内	
LOUDNESS1	低音と高音が強調されます。
⇩ 5 秒以内	
LOUDNESS2	さらに、低音と高音が強調されます。
⇩ 5 秒以内	
OFF	強調しない。

聞きたい曲から聞く（ダイレクト選曲）

1 CDを操作するとき

CDを入れたあと…

■ CD を押す。

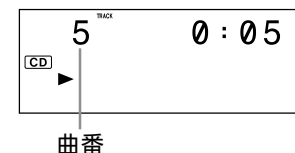
MDを操作するとき

MDを入れたあと…

■ MD を押す。

2 リモコンの 1～>10 で、聞きたい曲番を指定する。

5 TRACK 0:05 CD ▶ 曲番

指定した曲から再生が始まります。

■ 11～99曲目を指定するときは

>10 を押したあと、曲番を指定。

例）28曲目　>10 → 2 8

■ 100曲目以降を指定するときは（MDのみ）

>10 を2回押したあと、曲番を指定。

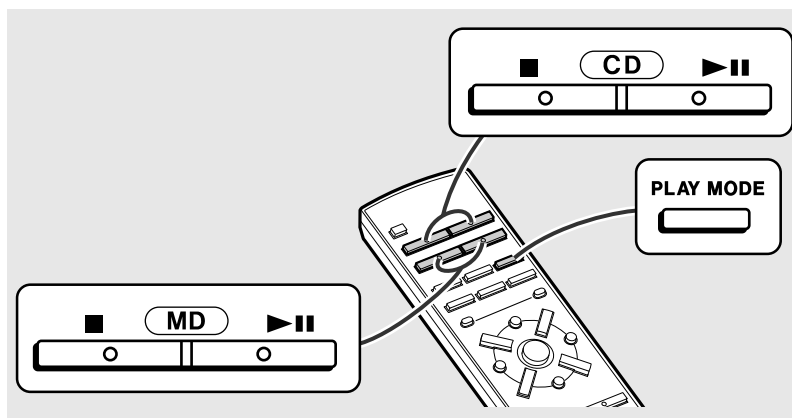
例）105曲目　>10 >10 → 1 10/0 5

ア 1　カABC 2　サDEF 3
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9
ワヲン 10/0　゛°小文字 >10

お知らせ

● ダイレクトボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。
● ランダム再生（☞ P.37）やプログラム選曲（☞ P.38）を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。

■ くり返し聞く・順不同で聞くには ☞ P.37

くり返して聞く・順不同で聞く （リピート再生・ランダム再生）

1 **CDを操作するとき**

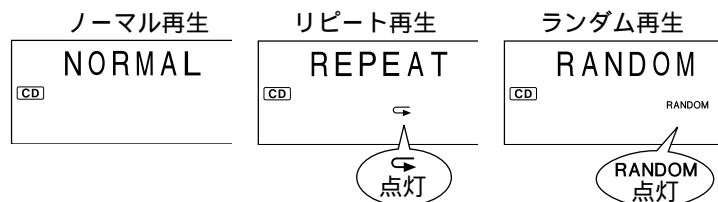
CDを入れたあと…

■ CD を押す。

MDを操作するとき

MDを入れたあと…

■ MD を押す。

2 PLAY MODE を押して、再生モードを選ぶ。

3 再生を開始する。

CDを操作するとき

CD ►II を押す。

MDを操作するとき

MD ►II を押す。

再生の動作は…

ノーマル再生	最後の曲を再生すると停止します。
リピート再生	再生を止めるまで続きます。 電源の切り忘れに注意してください。
ランダム再生	すべての曲を順不同に再生すると停止します。 （同じ曲は２回再生しません）

ノーマル再生に戻すには

PLAY MODE をくり返し押して、“NORMAL（ノーマル）”を選ぶ。

プログラム再生とリピート再生を組み合わせて使うと便利

聞きたい曲だけをくり返して聞くには

プログラム選曲をしたあとに、リピート再生をします。

聞きたい１曲だけをくり返して聞くには

プログラム選曲で１曲登録したあとに、リピート再生をします。

お知らせ

- 本体の PLAY MODE を押しても、再生モードを選ぶことができます。
- CDやMDの再生中に再生モードを切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生されます。
- MDのリピート再生やランダム再生の設定は、MDの録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）
- プログラム選曲を設定しているときは、ランダム再生はできません。

■ プログラム選曲 ☞ P.38

好きな曲だけを記憶させて聞く （プログラム選曲）

CDやMDの好きな曲を、好きな順に再生することができます。
（CDとMDは別々にそれぞれ20曲まで選べます。）

1 **CDを操作するとき**

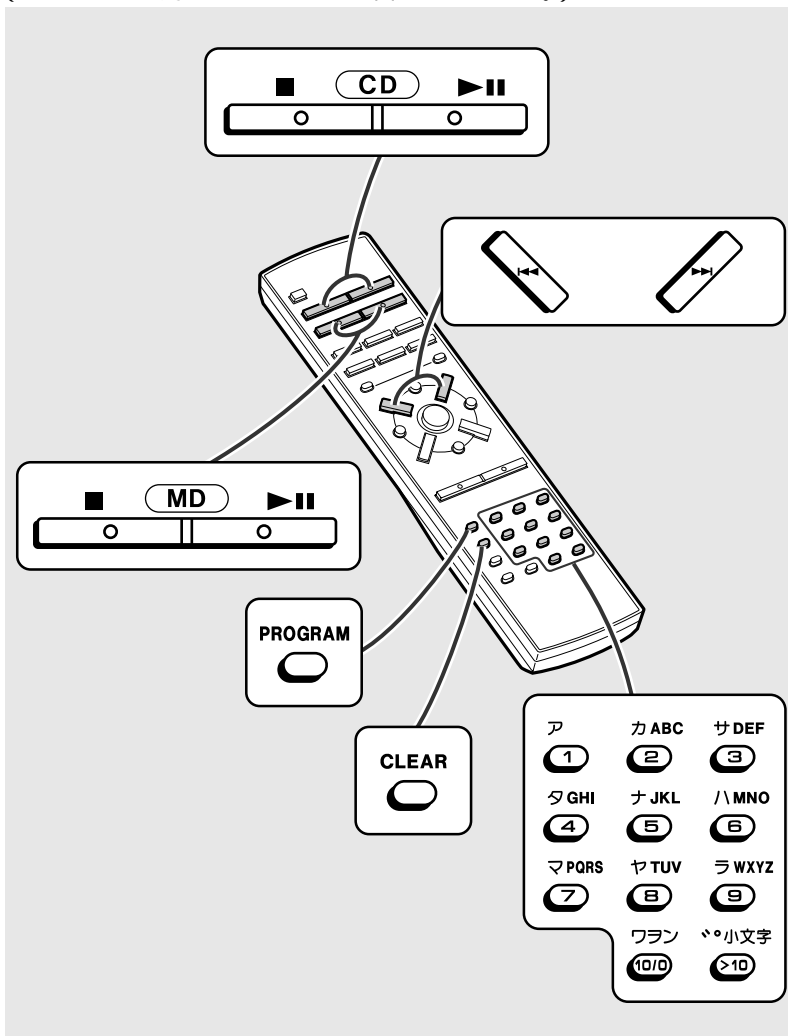
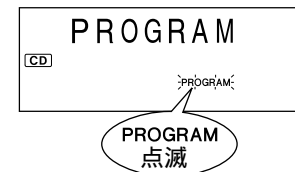
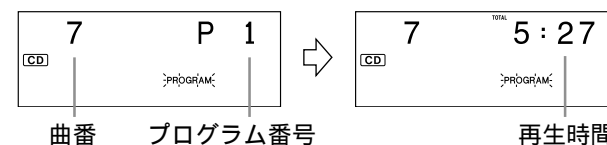
CDを入れたあと…

CD を押す。

MDを操作するとき

MDを入れたあと…

MD を押す。

2 **リモコンの PROGRAM を押す。**

3 **リモコンの ①～>10 で、聞きたい曲番を指定する。**

曲番を間違えたときは

登録中に、CLEAR を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。

続けて押すと順に取り消されます。

4 **3の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。**

プログラムの総再生時間が400分以上を超えると“--:--”が表示されますが、記憶されています。

■ 曲の指定方法 ☞ P.36

5 登録が終わったら…

CDを操作するとき

■ CD を押す。

MDを操作するとき

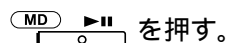
■ MD を押す。

6 再生を開始する。

CDを操作するとき

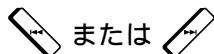
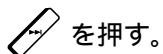
CD ►II を押す。

MDを操作するとき

MD ►II を押す。

最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生が終わっても曲の登録は覚えています。

登録した順番を確かめるには

停止中に… ⏮ または ⏭ を押す。

ボタンを押すたびに、登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

プログラム選曲を設定したあとに…

１～５の操作をくり返します。

前に選んでいる曲のあとに、追加されます。
(曲の順番を入れ換えることはできません。)

登録を取り消すには

❶ ■ CD または ■ MD を押して、入力を選ぶ。

❷ 停止中に… CLEAR を押す。
CD または MD の全曲の登録が取り消されます。
(CD や MD を取り出したときも、登録は取り消されます。)

曲名を確認しながら登録するには

❶ ■ CD または ■ MD を押して、入力を選ぶ。

❷ PROGRAM を押す。

❸ ⏮ または ⏭ を押して、聞きたい曲番を選ぶ。
このとき、CD や MD に曲名が入っていれば、曲名が確認できます。

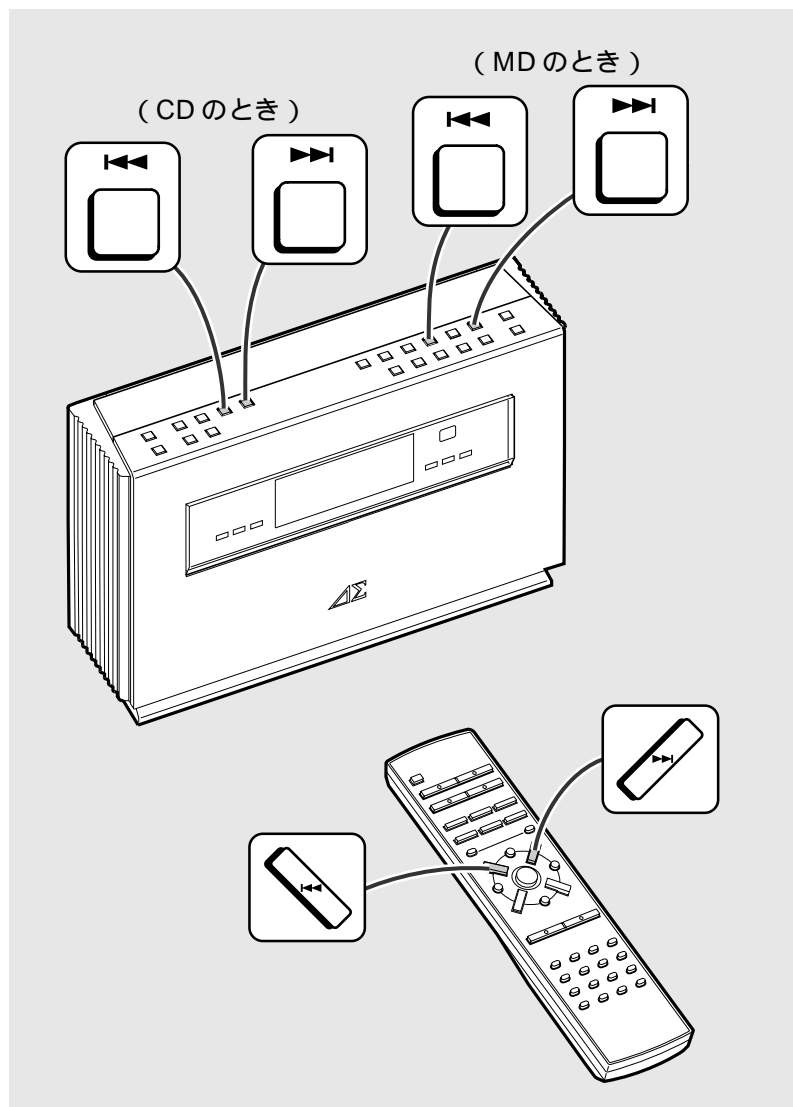
❹ PROGRAM を押す。

❺ 上記の ❸ ～ ❹ の操作をくり返して、曲番を登録する。

❻ 登録が終われば、■ CD または ■ MD を押す。

お知らせ

- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり、取り消すことはできません。
- MDのプログラム選曲の設定は、MDの録音操作をすると解除されます。
- CD をプログラム選曲して、好きな曲だけを録音することができます。
(録音が終わっても、曲の登録は覚えています。)

再生中に聞きたい位置を探す

曲を早く戻すには（早戻し）

再生中に… **CDまたはMDの ⏮ を押し続ける。**

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最初の曲の頭まで行くと、通常の再生になります。

曲を早く送るには（早送り）

再生中に… **CDまたはMDの ⏭ を押し続ける。**

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最後の曲の終わりまで行くと、“END（エンド）”が表示されます。

お知らせ

一時停止をしているときに、早戻し・早送りの操作をすると、再生中より早く探せます。

- このとき、音は出ませんので時間表示を目安にしてください。
- ボタンから指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

録音する前に、知っておいていただきたいこと

試し録音について

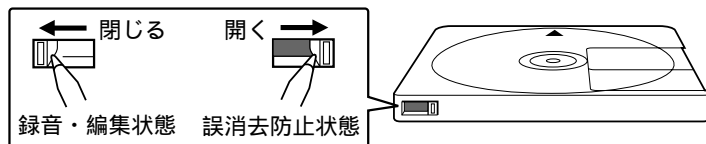
- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときもしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.79）

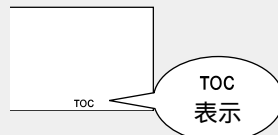
MD の誤消去防止ツマミについて

MD に録音や編集（☞ P.53）をするときは、誤消去防止ツマミが閉じていることを確かめてください。

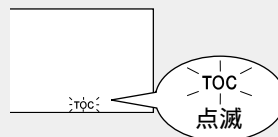
誤消去防止用ツマミが開いていると“ PROTECTED（プロテクテッド） ”と表示され、録音や編集ができません。

録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止ツマミを開いておくことをおすすめします。

TOC（トック）（Table of Contents）について

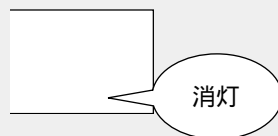
TOC とは、曲番や音声を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、この TOC で MD 全体を管理しているからです。
録音や編集をすると、画面に“ TOC ”が表示されます。

“ TOC ” の表示中は…

録音や編集によって、TOCの情報が変更されたことを表しています。

この時点では、録音や編集した情報は MD には記録されていません。

“ TOC ” の点滅中は…

録音や編集した情報をMDに記録中です。

TOCはこのようなときに記録されます。
- 録音を停止したとき
- 入力を切り換えたとき
- MD を取り出したとき
- 電源を切ったとき

“ TOC ” が消灯すると…

録音や編集した情報が MD に記録されました。

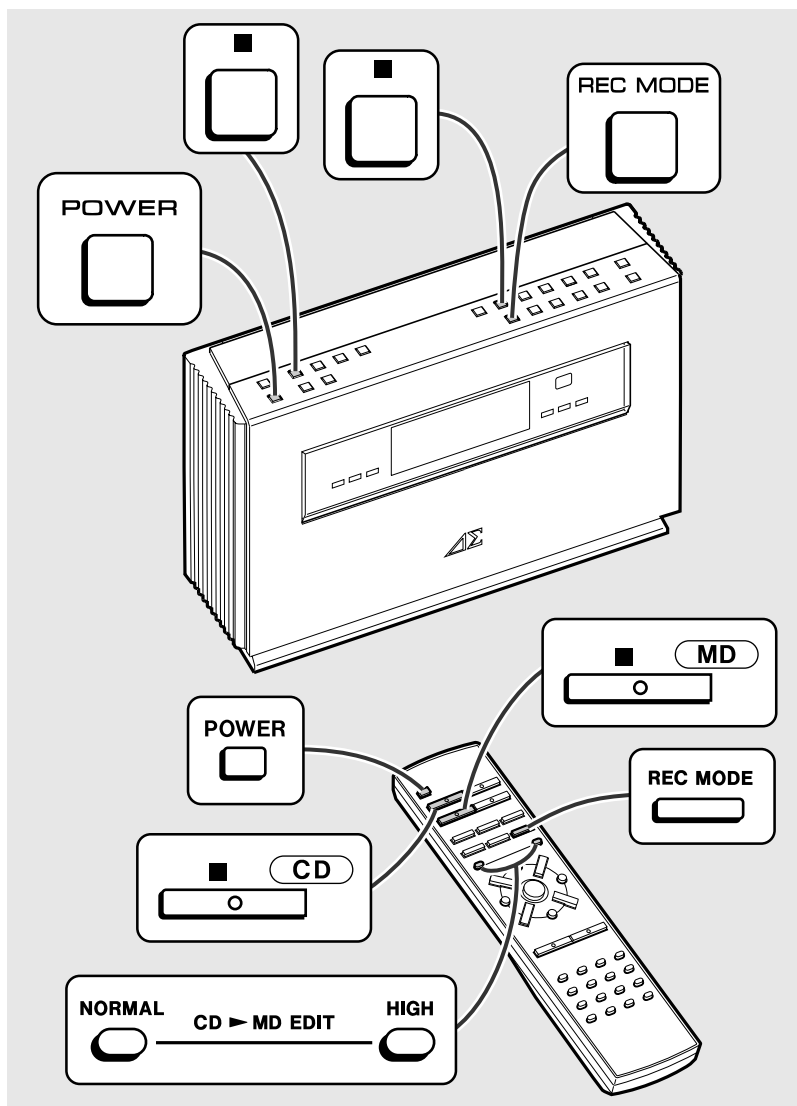
“ TOC ”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。録音や編集した情報が記録されません。

ご注意

- テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。録音に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。音とびを起こす原因となります。

お知らせ

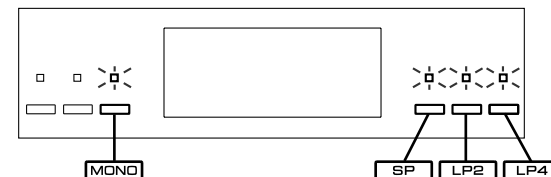
- 録音中に、音量・音質などを調整しても、録音には影響ありません。
- MDに録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。（録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。）
- 再生専用 MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。

CDからMDへ録音する（ワンタッチエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 再生するCDを入れる。

3 録音用MDを入れる。

4 CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

5 REC MODE を押して、録音モードを選ぶ。

表示	録音モード	録音時間 (80分のMDに録音する場合)
SP	ステレオ録音	最大80分
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大160分
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大320分
MONO	モノラル録音	最大160分

● 録音中は切り換えができません。
● 録音モードは次に変更するまで変わりません。

■ 録音残り時間の確認 ☞ P.45

6

通常の速度で録音するとき（定速録音）

NORMAL を押す。

速い速度で録音するとき（倍速録音）

HIGH を押す。

- 録音はデジタル録音になります。
- 録音が終わると、CD と MD が自動的に停止します。

録音できない曲があるときは

CDに入っている全曲の録音ができないときは、HIGH や NORMAL を押しても、次のように表示され録音は始まりません。

約２秒間

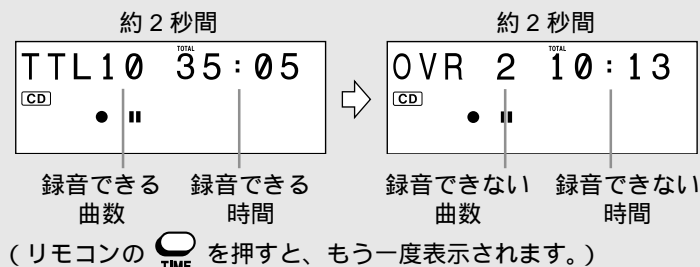
TTL10 TOTAL 35:05 CD

録音できる曲数　録音できる時間

約２秒間

OVR 2 TOTAL 10:13 CD

録音できない曲数　録音できない時間

（リモコンの TIME を押すと、もう一度表示されます。）

録音できる曲だけ録音するとき： HIGH または NORMAL を押す。

録音をしないとき： MD ■ を押す。

録音を停止するには

MD ■ または CD ■ を押す。

CD と MD が停止したあと、MD に曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

曲番について

CD から録音したときは、CD と同じ位置に曲番がつきます。

CD によっては、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

MD の４倍長時間録音（LP4）についてのご注意

４倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。

音質を重視する録音を行うときには、ステレオ録音（SP）または２倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

お知らせ

- ２倍・４倍長時間録音（LP2・LP4）をした曲は、２倍・４倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、曲名の頭に“ LP：”が表示され、無音状態となります。（機器によっては、動作・表示の異なる場合があります。）
- CD のキズ、汚れや記録状態により、倍速で録音した MD に音切れや雑音が生じることがあります。このとき、定速で録音してください。

■ 倍速録音の制約について ☞ P.52

CD から MD へ録音する（続き）

録音レベルを調整して録音するには

録音レベルを曲ごとに調整することができます。

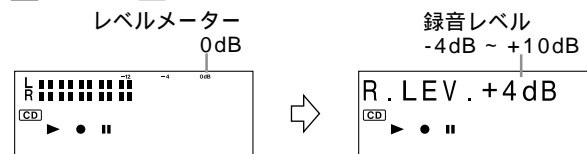
❶ CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

❷ CD ◄◄ または ►► を押して、録音したい曲番を選ぶ。

❸ REC MODE を押して、録音モードを選ぶ。

❹ CD ►II を押して、CD を再生する。

❺ ● REC を押して、録音の一時停止にする。

❻ MD ◄◄ または ►► (REC LEVEL) を押して、録音レベルを調整する。

- 最も大きなレベルで“ 0dB ”をこえないようにします。
- 録音レベルは、-4dB から +10dB まで 2dB ステップで調整することができます。
- リモコンの ＜ ＞ でも調整できます。

❼ CD ■ を押し、CD を停止する。（録音は一時停止）

❽ CD ◄◄ または ►► を押して、録音したい曲番をもう一度選ぶ。

❾ CD ►II をもう一度押して、録音を開始する。

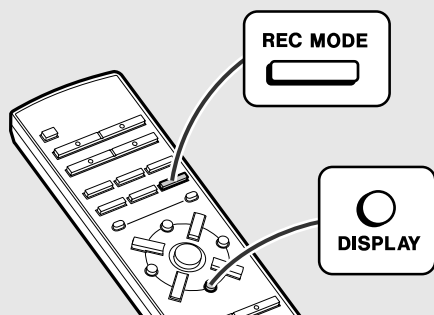
録音をやめるには

MD ■ を押す。

録音は停止し、CD は再生を続けます。

お知らせ

- この録音操作では、倍速録音はできません。
- 録音レベルは前回調整したレベルを覚えています。
- CD ► MD EDIT ボタンで録音開始したときは、録音レベルは調整できません。

録音モードと録音残り時間を確かめるには

停止中に…

入力を MD にして、REC MODE をくり返し押す。

SP -022:20 (MD)
ステレオ録音モードでの録音残り時間

LP2 -044:40 (MD)
２倍長時間録音モードでの録音残り時間

LP4 -089:20 (MD)
４倍長時間録音モードでの録音残り時間

MONO-044:40 (MD)
モノラル録音モードでの録音残り時間

お知らせ

- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

録音中の表示を切り換えるには

録音中に…

DISPLAY をくり返し押す。

CDの再生経過時間

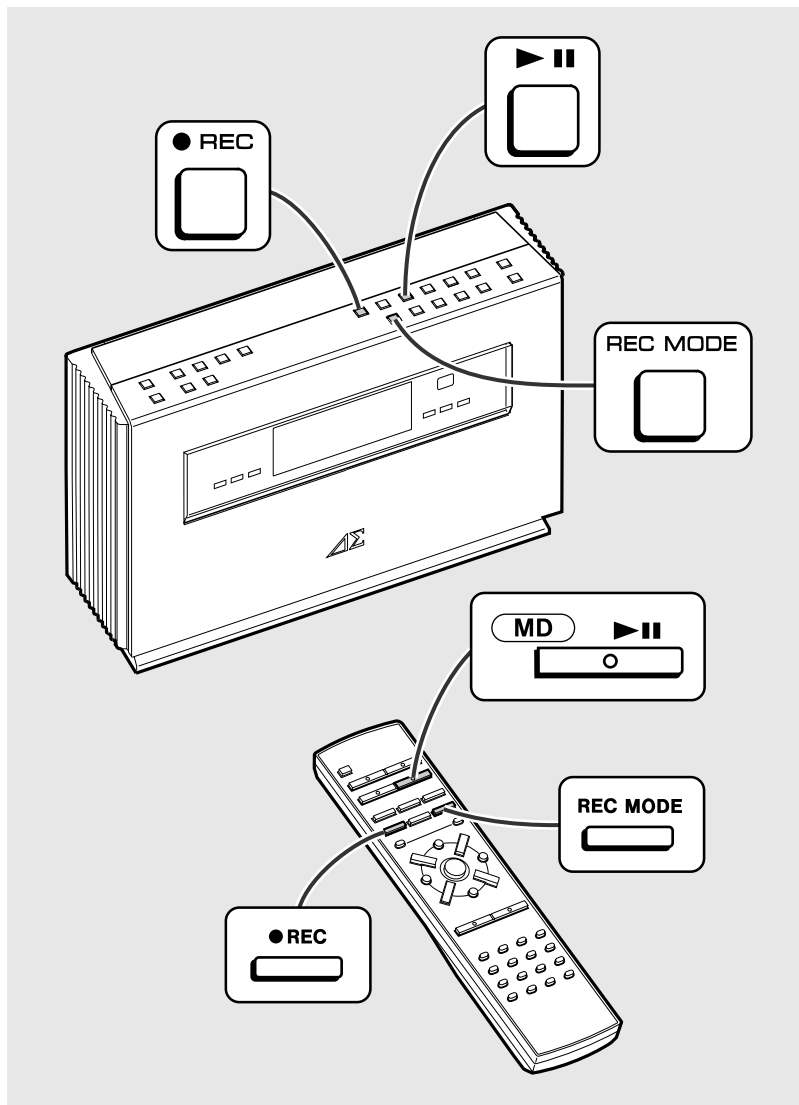
“NO NAME（ノー ネーム）”の表示

レベルメーター

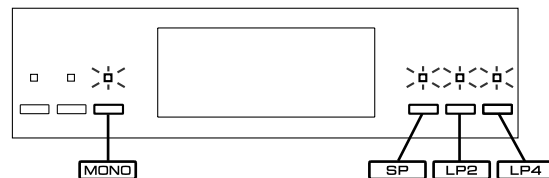
12 DISC -022:20 (CD, TOC)
MDの録音残り時間

お知らせ

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。録音を停止すると、もとの表示にもどります。
- モノラル録音モード（MONO）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

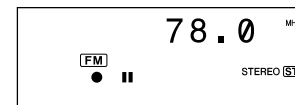
ラジオ放送をMDへ録音する

1 **録音したい放送局を受信する。**

2 **録音用 MD を入れる。**

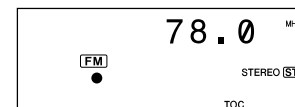
3 **REC MODE を押して、録音モードを選ぶ。**

SP	ステレオ録音
LP2	2 倍長時間録音（ステレオ）
LP4	4 倍長時間録音（ステレオ）
MONO	モノラル録音

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

4 **● REC を押す。**

録音の一時停止状態になります。

5 **MD ►II を押して、録音を始める。**

MD の録音残り時間がなくなると、MD は自動的に停止します。

■ ラジオ放送の受信 ☞ P.32

録音を一時停止するには

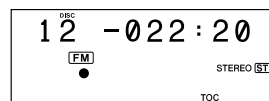
録音中に…　MD ►II を押す。

もう一度押すと、録音を再開します。

録音を停止するには

録音中に…　MD ■ を押す。

MDに曲番を書き込んだあと、MDが停止します。

録音中の表示を切り換えるには

録音中に…

DISPLAY をくり返し押す。

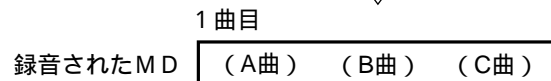
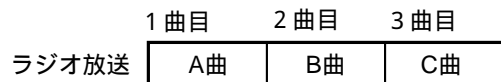
ラジオ放送の表示　→　“NO NAME（ノー ネーム）”の表示

MDの録音残り時間　←　レベルメーター

お知らせ

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。録音を停止すると、もとの表示にもどります。
- モノラル録音モード（MONO）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

曲番について

ラジオ放送から録音したときは、1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

録音を停止したり、一時停止すると…

次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。

録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で…　● REC を押す。

曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

お知らせ

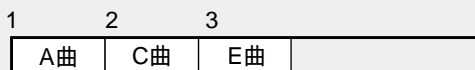
AM放送を録音するときは、録音の一時停止中に、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。

■ 録音モードについて ☞ P.42

こんな録音が楽しめます

ＣＤの好きな曲を登録して録音する ☞ P.49

録音したい曲を登録しておけば、あとでまとめて録音することができます。
（ハイパートラックエディット）

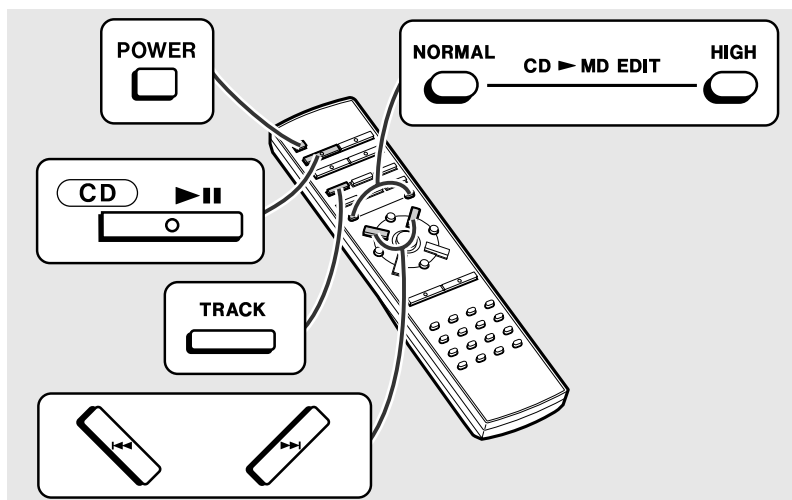
ＣＤから録音中に曲名をコピーする ☞ P.51

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークがついている CD から曲名をコピーすることができます。

録音済みＭＤの先頭に録音する ☞ P.50

録音済み MD の先頭に、曲をあとから録音することができます。
（トップポジションエディット）

お知らせ

- ハイパートラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、ハイパートラックエディットは使用できません。
  プログラム選曲やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、ハイパートラックエディットを使用すると、リピート再生は解除されます。

CDの好きな曲だけを録音する（ハイパートラックエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

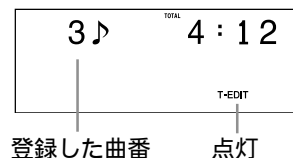
2 ■ CD を押して、入力を「CD」にする。

3 再生するCDを入れる。

4 録音用MDを入れる。

5 ⏮ または ⏭ を押して曲番を選ぶ。

6 TRACK を押して曲番を登録する。

登録した曲番　点灯

7 5〜6の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。

20曲まで登録できます。
21曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）”が表示され、その曲は登録されません。

8 HIGH または NORMAL を押して、録音を開始する。

CDから選んだ全曲がMDに録音できないときは、HIGH または NORMAL を押しても録音は始まりません。（☞ P.43）

録音が終わると、曲の登録は消えます。

CDを聞きながら登録するには

❶ CDを再生中に録音したい曲がでてきたら、

TRACK を押す。

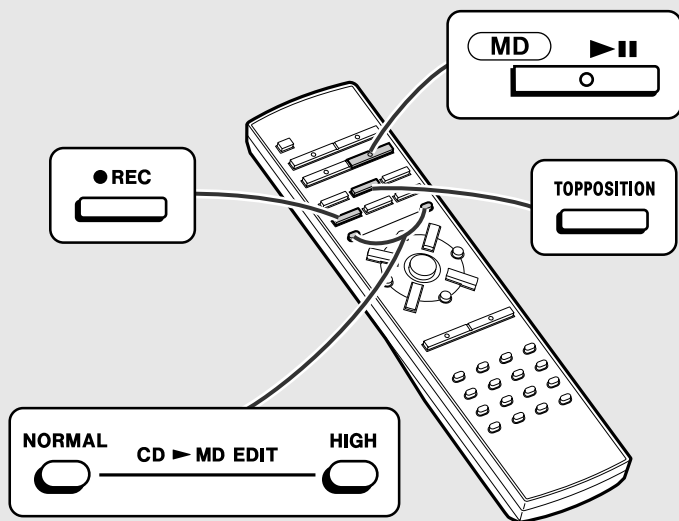
その曲が登録されます。
（20曲まで登録できます。）

❷ 登録が終わったら… ■ CD を押して、再生を止める。

ハイパートラックエディットを中止するには、もう一度 ■ CD を押します。

❸ HIGH または NORMAL を押して、録音を開始する。

■ 録音モードの選択 ☞ P.42

録音済みMDの先頭に録音する（トップポジションエディット）

1 録音の準備をする。

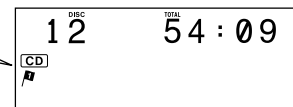
CD から録音するとき

録音したい CD を入れ、
録音用 MD を入れる。

ハイパートラックエディット
も使用できます。

ラジオ放送から録音するとき

録音したい放送局を受信して、
録音用 MD を入れる。

2 TOPPOSITION を押す。

もう一度押すと、トップポジションエディットの設定が解除されます。

3 録音を開始する。

CD から録音するとき

HIGH または NORMAL を押す。

CDから選んだ全曲がMDに
録音できないときは、HIGH
または NORMAL を押しても
録音は始まりません。
（☞ P.43）

ラジオ放送から録音するとき

●REC を押したあと、
⇩
MD ►II を押す。

録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。

録音した内容は MD の先頭の曲番となり、以前に録音済みの内容は、今録音した曲以降の曲番に移動します。

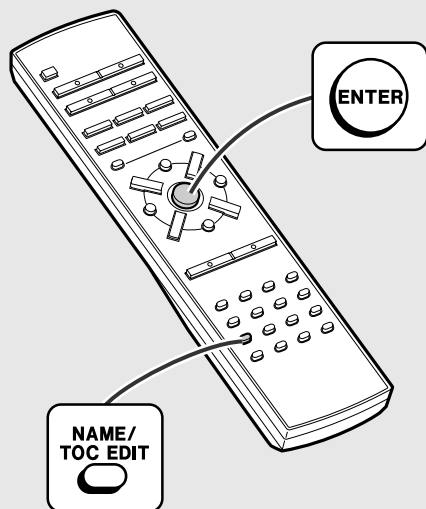
お知らせ

録音中や録音の一時停止状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。

MD ►II
●REC
TOPPOSITION
NORMAL　CD ► MD EDIT　HIGH

■ 録音モードの選択 ☞ P.42

CDから録音中に曲名をコピーする（ マークつきのCDのみ）

マークがついているCDから録音中に、曲名をMDにコピーすることができます。

1 録音を開始する。

---

2 曲名をコピーしたいときに…

CDの録音が始まってから、

NAME/TOC EDIT を押す。

TRACK NAME
CD ▶ ●
TOC

---

3 10秒以内に… **ENTER を押す。**

文字の入力画面になり、CDの今の曲名が表示されます。

LOVE SONG
CD ▶ ● カナ
TOC

このとき、曲名の文字をお好みに変更することができます。（☞ P.58）

曲名が表示されないときは、操作２からやり直してください。

---

4 **その曲の録音が終わる前に、**

ENTER を押す。

曲名がMDにコピーされ、録音は続きます。

次の曲もコピーしたいときは、操作2から操作4をくり返します。

お知らせ

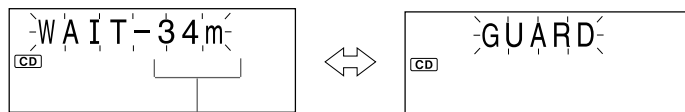
- ディスク名をコピーすることはできません。
- 曲名をコピーするときは、その曲の録音が終わる前に、曲名の登録を終えてください。
- コピーした曲名は、録音が終わったあとで、修正したり、消したりすることができます。（☞ P.56～58）
- CDの曲名が40文字以上ある場合は、41文字以降はコピーされません。

倍速録音の制約について

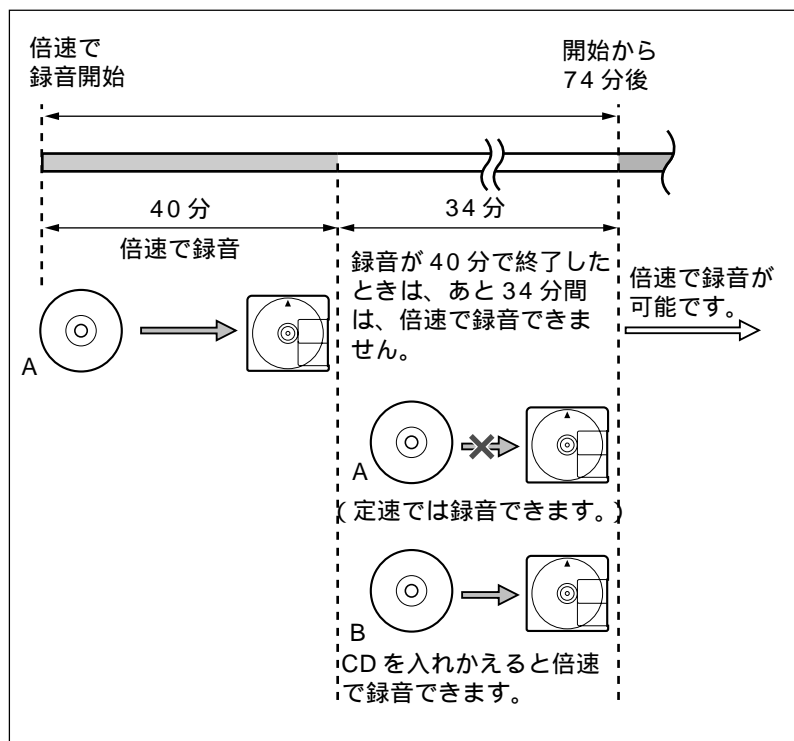
この製品は、CD から MD へ録音をするとき通常の半分の時間で録音することができます。(倍速録音)
倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

■ 著作権保護を目的とした制約

CD から MD へ一度倍速録音をしたあと、再び同じ CD から倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

(例)
たとえば、CD から MD への倍速録音が 40 分間で終了した場合、再び同じ CD から倍速録音をするときには、34 分間お待ちいただくことになります。

- 同じ CD は、1 回目の倍速録音を開始してから、74 分経過した後で 2 回目の倍速録音が開始できます。
- 同じ CD から 74 分以内に 2 回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、74分間は、倍速で録音をすることができません。

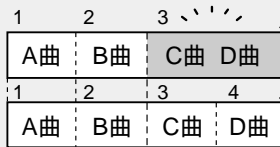
- 倍速録音を途中で止めたり、1 曲でも倍速録音した CD から、もう一度録音しようとしたとき。
- 20 枚の CD から倍速録音したあと、21 枚目を録音しようとしたとき。

お知らせ

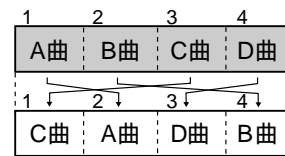
- 倍速の録音中は、通常の 2 倍の速度で CD の音が再生されます。
- 倍速の録音中に、音量・音質などを調整することができますが、録音される音声は変わりません。

MD編集でこんなことができます

録音した MD には、お好みのディスク名や曲名をつけることができます。（☞ P.54 ～ 58）
また、曲の順番を並べ換えたり、つないだりして、オリジナルディスクを作ることもできます。（それぞれの操作は続けて行えます。）

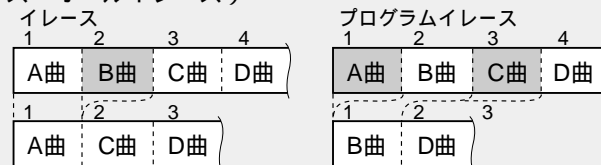
曲を分ける ☞ P.59

1 つの曲を希望の位置で 2 つの曲に分けることができます。
（デバイド）

曲を並べ換える ☞ P.61

プログラム選曲で指定した順番に、曲を並べ換えることができます。
（プログラムムーブ）

曲をつなぐ ☞ P.60

連続した 2 つの曲を、1 つの曲にすることができます。
（コンバイン）

曲を消す ☞ P.62 ～ 63

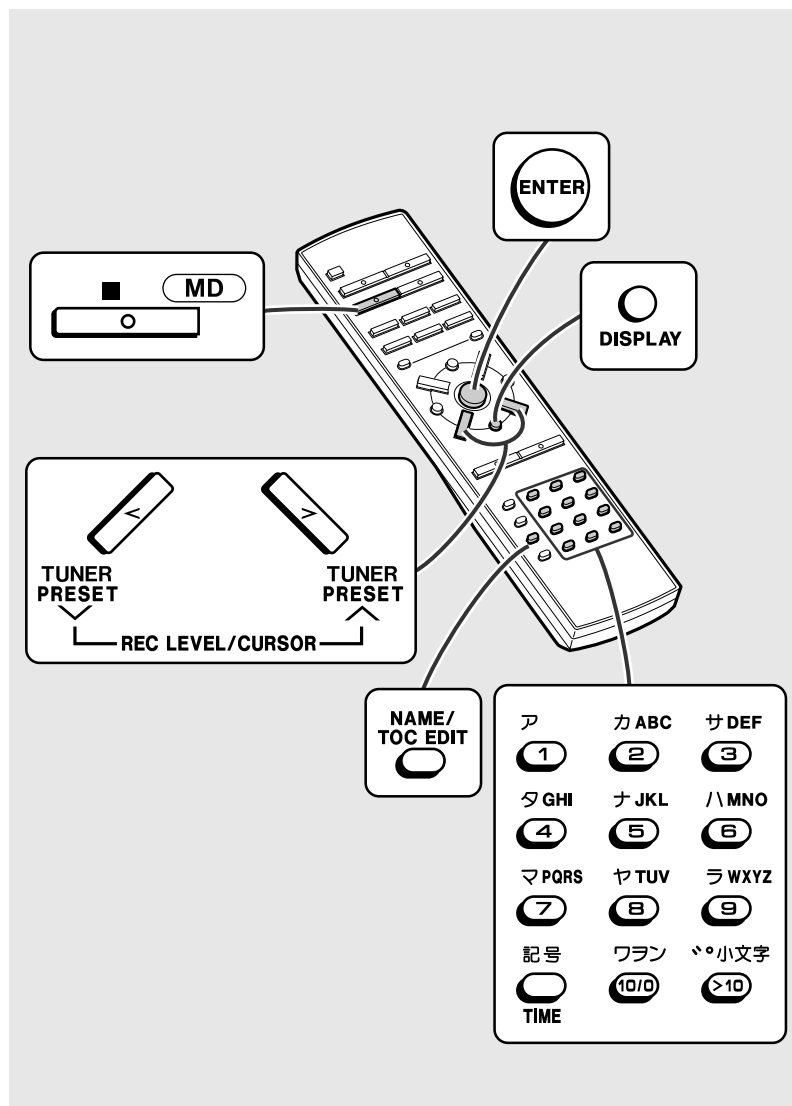
指定した 1 曲、プログラム選曲で指定した数曲、または MD 内のすべての曲を消すことができます。（イレース・プログラムイレース・オールイレース）

消した曲をもとに戻すことはできませんので、注意してください。

曲を移動する ☞ P.61

指定した曲を、希望する位置に移動することができます。
（ムーブ）

お知らせ

- イレースやプログラムイレースで曲を消すと、曲名も消えます。
- オールイレースですべての曲を消すと、ディスク名・曲名も消えます。
- ランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。
  設定を解除してください。
- プログラム選曲を設定したあとは、プログラムムーブ・プログラムイレース以外の編集操作はできません。
  他の編集操作をするときは、プログラム選曲を解除してください。

録音したMDにタイトルをつける

■ MD
ENTER
DISPLAY
TUNER PRESET ∨ TUNER PRESET ∧
REC LEVEL/CURSOR
NAME/ TOC EDIT
ア 1 カABC 2 サDEF 3
タGHI 4 ナJKL 5 ハMNO 6
マPQRS 7 ヤTUV 8 ラWXYZ 9
記号 TIME ワヲン 10/0 ゛゜小文字 >10

ディスク名をつけるには

1 ■ MD を押す。

2 NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

DISC NAME
MD

3 10秒以内に…
∨ または ∧ を押して、
"DISC NAME(ディスク ネーム)"を選ぶ。

DISC NAME
MD

4 10秒以内に… ENTER を押す。

中止するには NAME/TOC EDIT を押します。

DISC
MD
文字入力の画面

5 ア 1 ～ ゛゜小文字 >10 、記号 TIME 、DISPLAY を使って、文字を入力する。

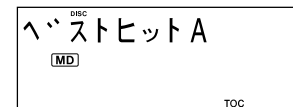
カナ ⟷ 英数の切換：DISPLAY
アルファベットの大文字 ⟷ 小文字の切換：゛゜小文字 >10

ヘ
DISC
MD カナ

6 入力が終われば… ENTER を押す。

ディスク名が記録されます。

ヘ゛ストヒットA
DISC
MD
TOC

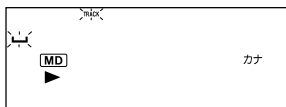
■ 入力できる文字の種類 ☞ P.56

曲名をつけるには

1 名前をつける曲の再生中に…

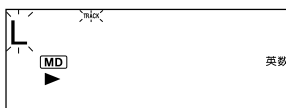
NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

2 10秒以内に… ENTER を押す。

文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返して再生されます。

中止するには NAME/TOC EDIT を押します。

3 ア 1 〜 ゛゜小文字 >10 、記号 TIME 、DISPLAY を使って、文字を入力する。

カナ ⇔ 英数の切換：DISPLAY

アルファベットの大文字 ⇔ 小文字の切換：゛゜小文字 >10

4 入力が終われば… ENTER を押す。

曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

■ 文字入力のしかた
（例）「ベストヒット A」と入力するときは

❶ DISPLAY を押し、カタカナモードにする。

❷ ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ゛゜小文字 >10 ……………（ベ）

❸ サDEF 3 サDEF 3 サDEF 3 ……………（ス）

❹ タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 ……………（ト）

❺ ハMNO 6 ハMNO 6 ……………（ヒ）

❻ タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 ……………（ッ）
小文字

❼ ⧵ を押し、一文字移動する。

❽ タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 ……………（ト）

❾ DISPLAY を押し、英数モードにする。

❿ カABC 2 ……………（A）

お知らせ

- 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
- 録音中にも曲名をつけることができます。
  録音中に操作するときは、その曲の録音が終わる前に、名前の登録を終えてください。

■ 入力した文字の消去、修正や追加 ☞ P.57〜58

録音したMDにタイトルをつける（続き）

入力できる文字の種類について

ボタン	カタカナ入力モード ⇔ DISPLAY ⇔ 英数入力モード		
		大文字	小文字
1	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
2	カキクケコ	ABC 2	abc 2
3	サシスセソ	DEF 3	def 3
4	タチツテト ッ	GHI 4	ghi 4
5	ナニヌネノ	JKL 5	jkl 5
6	ハヒフヘホ	MNO 6	mno 6
7	マミムメモ	PQRS 7	pqrs 7
8	ヤユヨ ャュョ	TUV 8	tuv 8
9	ラリルレロ	WXYZ 9	wxyz 9
10/0	ワヲン	0 スペース	0 スペース
>10	゛ ゜ スペース	アルファベットの大文字／小文字の切換え（数字の大きさは変わりません。）	
記号 TIME	− . , / : ? & ( ) ! " # $ % ＊ ;< = > @ _ ` + ’ スペース		

お知らせ

- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正常に表示されないことがあります。
- ディスク名や各曲名で入力した文字が 40 文字を超えると“NAME（ネーム） FULL（フル）”、最大入力文字が約1,700 文字を超えると“TOC（トック） FULL（フル） 1”と表示されます。
- 1 枚の MD には、約 1,700 文字まで入力することができます。（約 1,700 文字を超えると“TOC（トック） FULL（フル） 1”と表示されます。ただし、この製品で 2 倍・4 倍長時間録音（LP2・LP4）した曲にはその情報が記録されるため、1,700 文字以下でも“TOC（トック） FULL（フル） 1”が表示されることがあります。）

ディスク名を消去するには

1 ■ MD を押す。

2 NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

DISC NAME
MD

3 10 秒以内に…
< または > を押して、
“DISC NAME”（ディスク ネーム）を選ぶ。

DISC NAME
MD

4 TIMER/DELETE を 2 秒以上押す。

- 操作3のあと ENTER を押しても TIMER/DELETE を押すことができます。
- 中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

NAME CLEAR?
MD
（確認表示です）

5 ENTER を押す。

ディスク名が消去されます。

12　54：09
MD　TOC

曲名を消去するには

1 名前をつける曲の再生中に…
NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

TRACK NAME
MD ►

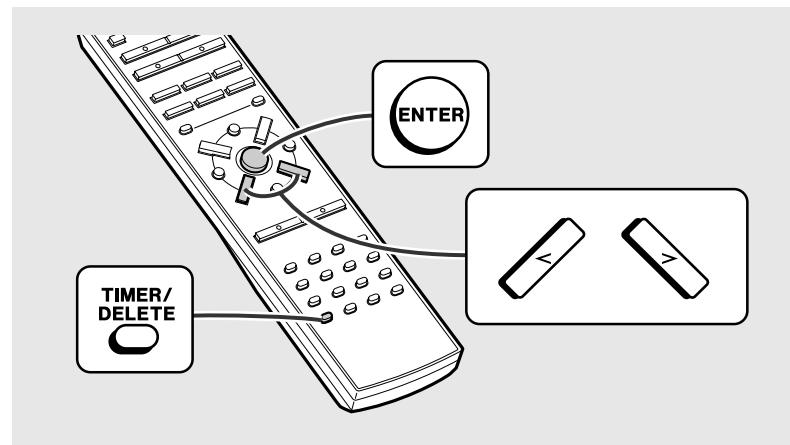
2 TIMER/DELETE を 2 秒以上押す。

- 操作3のあと ENTER を押しても TIMER/DELETE を押すことができます。
- 中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

NAME CLEAR?
MD ►
（確認表示です）

3 ENTER を押す。

選んだ曲名が消去されます。

1　4：52
MD ►　TOC

録音したMDにタイトルをつける（続き）

文字を消したり、修正するには

1 **文字の入力画面にする。**

ディスク名を修正するとき： P.54の操作1～4

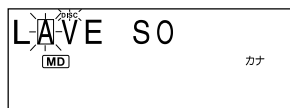
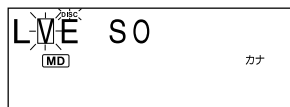
曲名を修正するとき： P.55の操作1～2

2 または を押して、消したり、修正したい文字を点滅させる。

LAVE SO

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

3 TIMER/DELETE を押して、不要な文字を消去する。

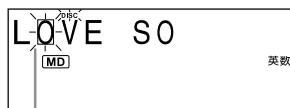
LVE SO

4 **正しい文字を入力する。**

ディスク名を入力するとき：

P.54の操作5

曲名を入力するとき：

P.55の操作3

LOVE SO

入力した文字

5 文字の消去・修正が終われば…

ENTER を押す。

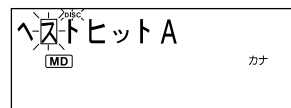
1：LOVE SO

文字を追加するには

1 **文字の入力画面にする。**

ディスク名を追加するとき： P.54の操作1～4

曲名を追加するとき： P.55の操作1～2

2 または を押して、追加したい位置の文字を点滅させる。

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

3 **追加したい文字を入力する。**

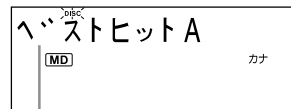
ディスク名を入力するとき：

P.54の操作5

曲名を入力するとき：

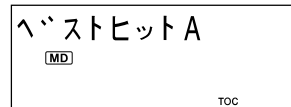
P.55の操作3

もとの文字が1文字ずつ右に移動します。

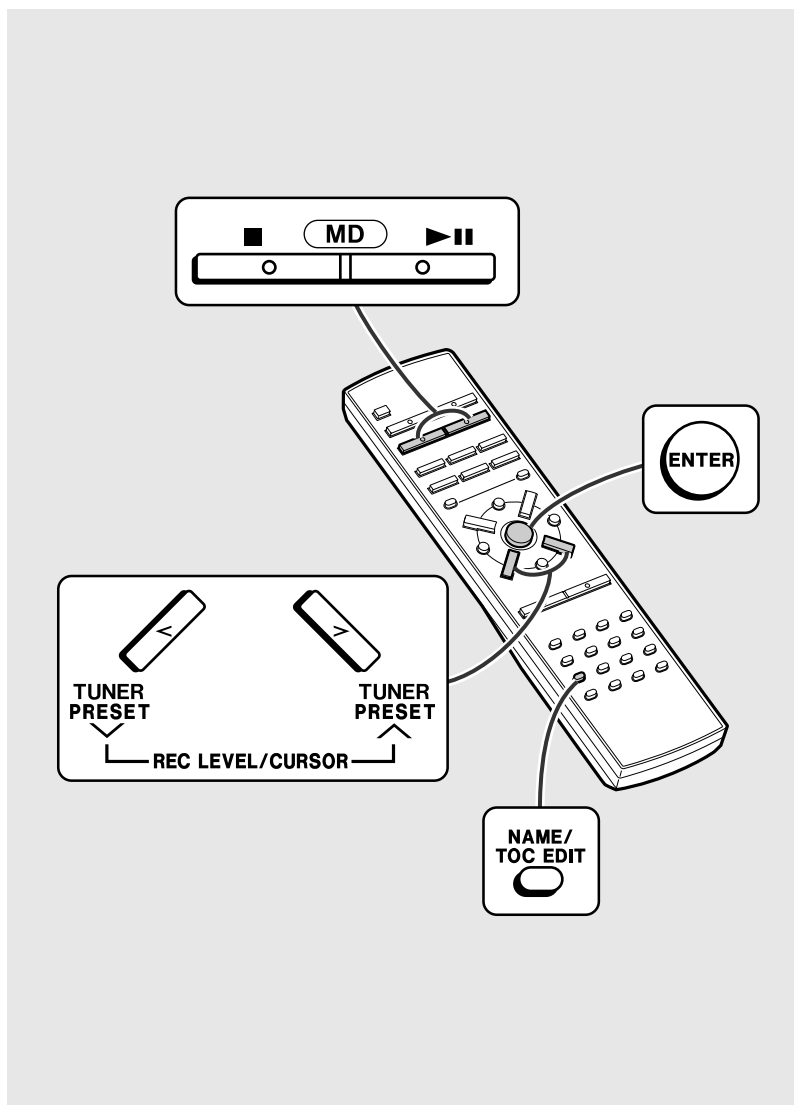
ヘ゛ストヒットA

追加した文字

4 文字の追加が終われば…

ENTER を押す。

ヘ゛ストヒットA

お知らせ

他の機器で40文字以上入力されたMDは、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名または曲名を一度消去したあと、もう一度入力してください。

曲を分ける （デバイド）

1 再生中に、曲を分けたいところで…

MD ►II を押して、一時停止状態にする。

2 NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10 秒以内に…

＜ または ＞ を押して、“ DIVIDE（デバイド）” を選ぶ。

DIVIDE
MD

4 10 秒以内に… ENTER を押す。

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

DIVIDE OK?
MD

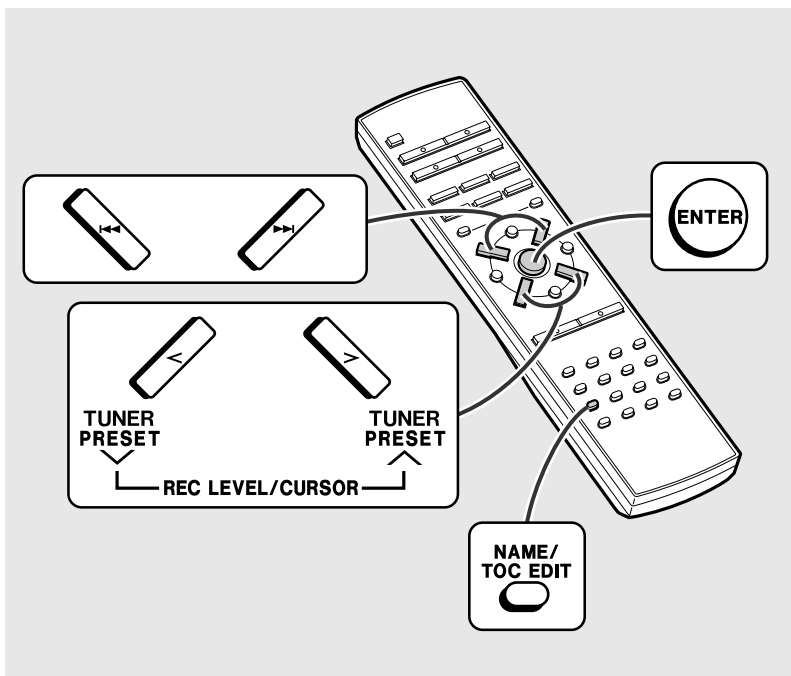
（確認表示です）

5 もう一度… ENTER を押す。

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

お知らせ

- 1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けられます。ただし、254 曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.75）
- 分ける曲に曲名・録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。
  ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名がつきません。

曲をつなぐ （コンバイン）

お知らせ

- 離れた２つの曲をつなぐには、あらかじめ、「ムーブ」（☞ P.61）を使って２つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、２倍長時間録音、４倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：８秒、モノラル録音・２倍長時間録音：16秒、４倍長時間録音：32秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ２つの曲に、両方とも曲名がついているときや、前の曲だけについているときは、前の曲名がつきます。
  前の曲に曲名がついていないときは、つぎのようになります。
  モノラル・ステレオ録音された曲の場合は、うしろの曲名になり、
  ２倍・４倍長時間録音された曲の場合は、曲名はつきません。

1 停止中に…

⏮ または ⏭ を押して、
つなぐうしろの曲を選ぶ。

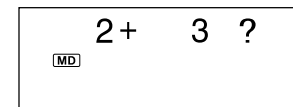
うしろの曲の再生中に、MD ►II を押して、一時停止状態にしてもできます。

2 NAME/TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に…

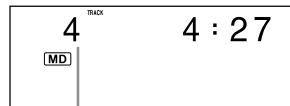
＜ または ＞ を押して、
“COMBINE（コンバイン）”を選ぶ。

4 10秒以内に… ENTER **を押す。**

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

5 もう一度… ENTER **を押す。**

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

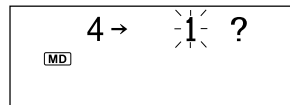
曲を移動する（ムーブ）

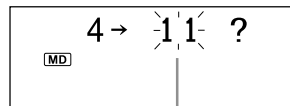
1 停止中に…
⏮ または ⏭ を押して、
移動する曲を選ぶ。

移動する曲番

移動したい曲の再生中に、MD ▶II を押して、一時停止状態にしてもできます。

2 NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…
< または > を押して、
“MOVE（ムーブ）”を選ぶ。

4 10秒以内に… ENTER を押す。

（確認表示です）

5 ⏮ または ⏭ を押して、
移動先を選ぶ。

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

移動先の曲番

6 もう一度… ENTER を押す。

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

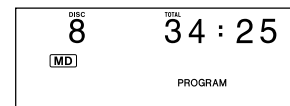
曲を並べ換える（プログラムムーブ）

1 曲を並べ換えたい順番にプログラム選曲する。

（☞ P.38～39の操作1～5）

2 NAME/TOC EDIT を押す。

“PRGM（プログラム） MOVE（ムーブ）”が表示されます。

3 10秒以内に… ENTER を押す。

中止するには、NAME/TOC EDIT を押します。

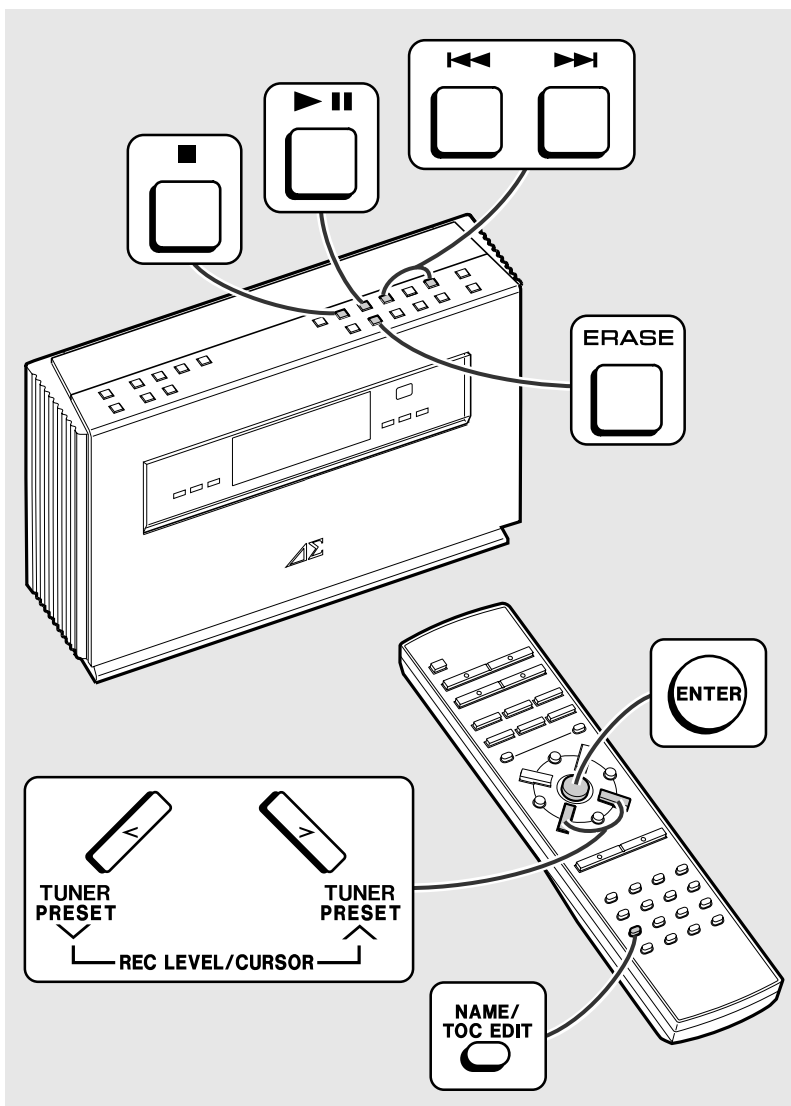
（確認表示です）

4 もう一度… ENTER を押す。

- 曲が並べ換えられます。
- プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲のうしろに並べ換えられます。

お知らせ

同じ曲を2回以上プログラムしているときは、始めにプログラムした内容が優先されます。

曲を消す　（イレース）

1曲ずつ消すには

1 停止中に… ⏮ または ⏭ を押して、消す曲を選ぶ。

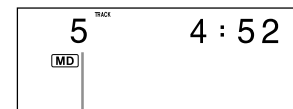
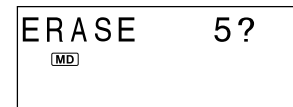
消したい曲の再生中に、►❚❚ を押して、一時停止状態にしてもできます。

5　TRACK　4：52　MD

消したい曲番

2 ERASE を押す。

中止するには、MD ■ を押します。

ERASE　5？　MD

（確認表示です）

3 ERASE を2秒以上押す。

1曲消えて、消えたうしろの曲の頭で停止します。

COMPLETE　MD　TOC

ご注意

曲を消すと元には戻せません。
消してもよいかどうかよく確かめてから操作してください。

お知らせ

- 曲を消すと、曲番・曲名・録音日時なども同時に消えます。
- リモコンの NAME/TOC EDIT で「ERASE（イレース）」・「ALL ERASE（オール イレース）」のメニューを選んで消去することもできます。

（プログラムイレース）　（オールイレース）

数曲まとめて消すには（最大 20 曲）

1 消したい曲をプログラム選曲で登録する。

（☞ P.38 ～ 39 の操作 1 ～ 5）

2 リモコンの NAME/TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10 秒以内に…

リモコンの < または > を押して " PRGM ERASE " を選ぶ。

プログラムイレース

PRGM ERASE
MD
PROGRAM

4 10 秒以内に…

リモコンの ENTER を押す。

中止するには、■ MD を押します。

PRGM ERASE?
MD
PROGRAM

5 もう一度…

リモコンの ENTER を押す。

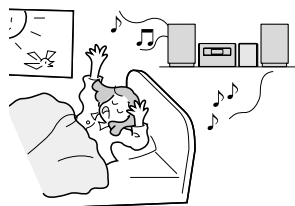
COMPLETE
MD
TOC

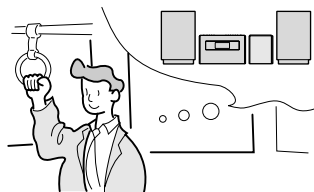
プログラムした曲が消えます。

すべての曲を消すには

タイマーを利用してこんなことができます

音楽で目覚める ☞ P.65

設定した時刻にMD・CD・ラジオ放送を聞くことができます。
（タイマー再生）

留守中に録音する ☞ P.65

設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。
（タイマー録音）

音楽を聞きながらおやすみになる ☞ P.68

設定した時間でMD・CD・ラジオ放送を停止することができます。
（スリープ）

スリープとタイマーを組み合わせて使う ☞ P.69

設定した時間でMD・CD・ラジオ放送を停止させ、再び開始時刻になると、タイマー再生またはタイマー録音を始めることができます。

タイマーを使う前に

❶ 時計を合わせる。

時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。

❷ 再生や録音の準備をする。

- 再生用または録音用のMDを入れてください。
- ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録してください。（☞ P.34）
- ラジオ放送から録音するときは、録音モードを確認してください。（☞ P.46）

ご注意

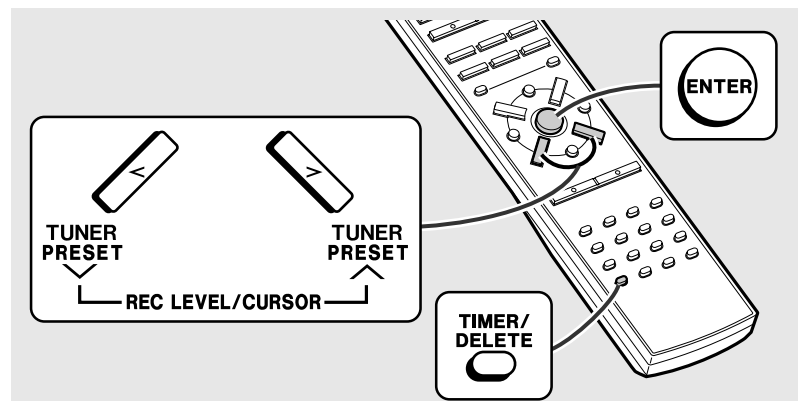
- タイマー再生とタイマー録音を同時に設定することはできません。
- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することはできません。
- 録音中はタイマー設定をすることはできません。

次のとき、タイマー録音はできません。

- 再生専用MDが入っているとき。
- MDが誤消去防止状態になっているとき。（☞ P.41）
- MDに録音できる部分がないとき。
（“TOC（トック） FULL（フル）”、“DISC（ディスク） FULL（フル）”状態など）

■ 時計の設定 ☞ P.22

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（タイマー）

タイマーを設定するには

1 電源を入れて… TIMER/DELETE を押す。

“STANDBY（スタンバイ）”が表示されないときは、時計を合わせてください。時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。

STANDBY
CD

2 10秒以内に…

＜ または ＞ を押して、“TIMER SET（タイマー セット）”を選ぶ。

TIMER SET
CD

3 10秒以内に… ENTER を押す。

TIMER PLAY
CD

4 ＜ または ＞ を押して、登録モードを選ぶ。

タイマー再生をするとき

“TIMER PLAY（タイマー プレイ）”を選ぶ。

TIMER PLAY
CD

タイマー録音をするとき

“TIMER REC（タイマー レコード）”を選ぶ。

TIMER REC
CD

5 ENTER を押す。

ON 1:00 AM
CD

6 ＜ または ＞ を押して、開始時刻の「時」を合わせ ENTER を押す。

ON 7:00 AM
CD

7 ＜ または ＞ を押して、開始時刻の「分」合わせ ENTER を押す。

ON 7:30
CD

⇩

OFF 8:30 AM
CD

- ＜ または ＞ を押し続けると、5分ごとに早送りされます。
- 開始時刻の「分」を設定すると、「時」が1時間増えて、終了時刻に切り換わります。

次のページにつづく ▶

■ 時計の設定 ☞ P.22

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（続き） （タイマー）

8 ＜ または ＞ を押して、終了時刻の「時」を合わせ ENTER を押す。

OFF 7：30 AM
CD

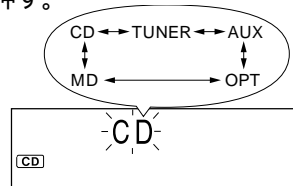
9 ＜ または ＞ を押して、終了時刻の「分」を合わせ ENTER を押す。

OFF 7：45 AM
CD

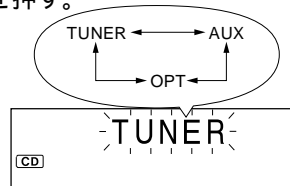
10

タイマー再生をするとき

＜ または ＞ を押して、聞きたい入力を選び ENTER を押す。

CD
CD

タイマー録音をするとき

＜ または ＞ を押して、録音したい入力を選び ENTER を押す。

TUNER
CD

入力が「TUNER（チューナー）」のときは…

＜ または ＞ を押して、希望の放送局を選び ENTER を押す。

プリセット番号 — P 1 78.0 MHz
CD

放送局が登録されていないと“NO P.SET（ノー プリセット）”と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録したあともう一度、操作1からやり直してください。

11 ＜ または ＞ を押して、音量を設定し ENTER を押す。

VOLUME 10
CD

音量をあまり大きくしないように注意してください。

⇩

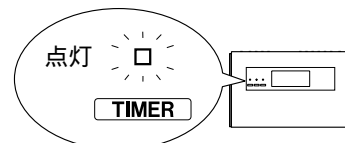
登録された内容が順に表示されます。

（タイマー再生）

（タイマー録音）

TIMER
REC

このあと、自動的に電源が切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

⇩

タイマー開始時刻になると…
タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

タイマー終了時刻になると…
電源が自動的に切れます。

設定内容は次に変更するまで覚えています。
同じ内容で再度タイマーを使うときは、67ページの説明をごらんください。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマーの設定は消えてしまいます。

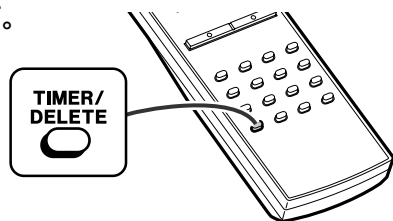
お知らせ

CDやMDで、リピート再生・ランダム再生・プログラム選曲を設定していても、タイマー再生することができます。

■ 放送局の登録 ☞ P.34

同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーの内容は、一度設定すると覚えていますので、内容を変えないときは次の操作で再設定できます。

1 TIMER/DELETE を押す。

2 10 秒以内に… または を押して、"STANDBY"(スタンバイ)を選ぶ。

STANDBY
CD

"STANDBY"(スタンバイ)が表示されないときは、時計の設定が消えています。そのときは、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

3 10 秒以内に… ENTER を押す。

登録された内容が順に表示されます。このあと、自動的に電源が切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

タイマー設定の内容を確認するには

❶ タイマー再生やタイマー録音の待機状態のときに、TIMER/DELETE を押す。

❷ 10秒以内に、 または を押して、"TIMER CALL"(タイマー コール)を選ぶ。

TIMER CALL

❸ 10秒以内に、 ENTER を押す。

設定した内容が順に表示されたあと、もとの状態に戻ります。

タイマー設定を変更するには

電源を入れて、タイマー設定（☞ P.65）の操作1からやり直してください。

タイマー動作を解除するには

タイマー再生やタイマー録音の待機状態のときに、電源を入れると解除されます。
電源を入れずに、次の操作で解除することもできます。

❶ TIMER/DELETE を押す。

❷ 10秒以内に、 または を押して、"CANCEL"(キャンセル)を選ぶ。

CANCEL

❸ 10秒以内に、 ENTER を押す。

タイマー動作は解除されます。（設定した内容は消えません。）

■ 時計の設定 ☞ P.22

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

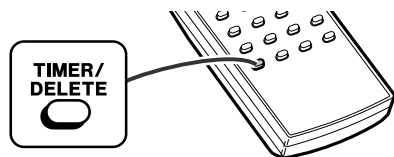
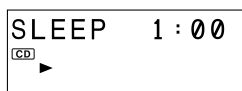
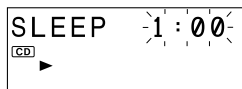
スリープを設定するには

1 聞きたい音楽の再生中に… TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に… または を押して、“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

SLEEP 1:00

3 10秒以内に… ENTER を押す。

SLEEP 1:00

4 または を押して、スリープ時間を設定する。

SLEEP 30

- 1分〜2時間まで設定できます。
- 5分から2時間までは5分単位で、1分から5分までは1分単位で設定できます。

5 ENTER を押す。

SLEEP 30

スリープ動作が始まります。

スリープ終了時刻になると…
再生が終わり、電源が切れます。

スリープ中に残り時間を確認するには

❶ スリープ動作中に、TIMER/DELETE を押す。

❷ 10秒以内に、 または を押して、“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに ENTER を押すと、時間を変更することができます。（左の操作4〜5）

スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。
電源を切らずに、スリープだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

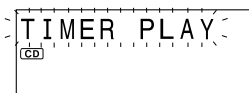
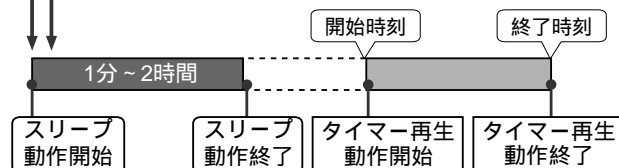
❶ スリープ動作中に、TIMER/DELETE を押す。

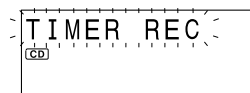
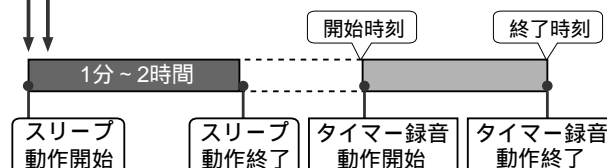
❷ 10秒以内に、 または を押して、“SLEEP OFF（スリープ オフ）”を選ぶ。

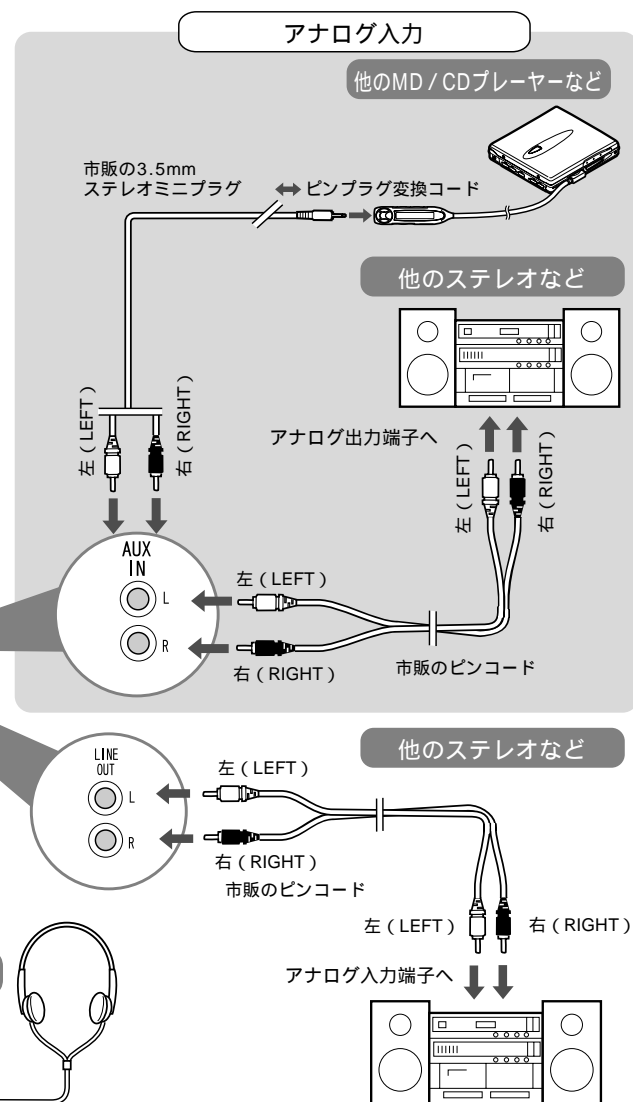
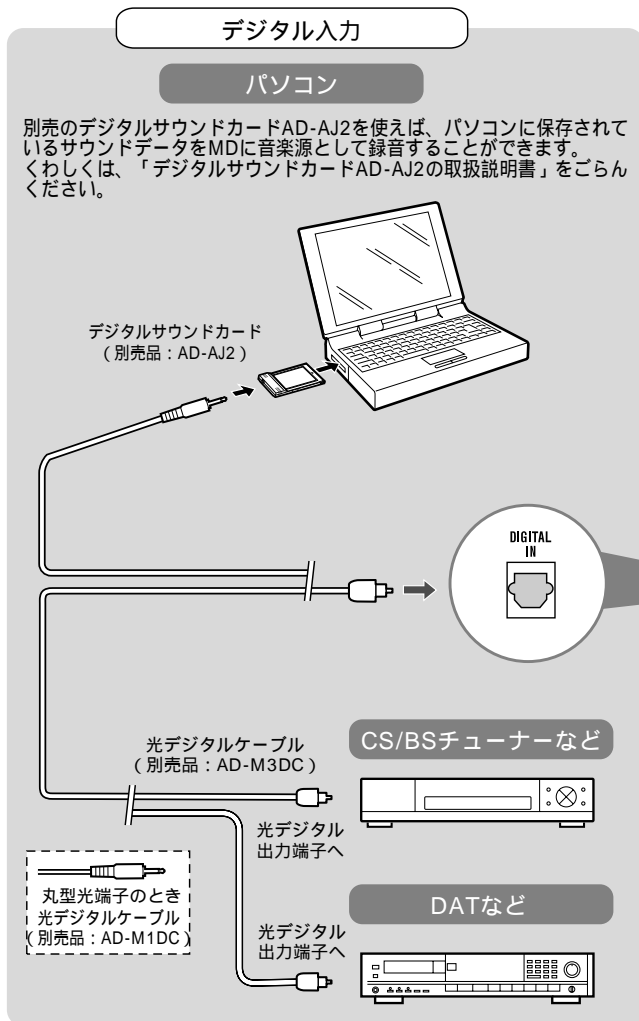
❸ 10秒以内に、ENTER を押す。
スリープが解除されます。（“SLEEP（スリープ）”消灯）

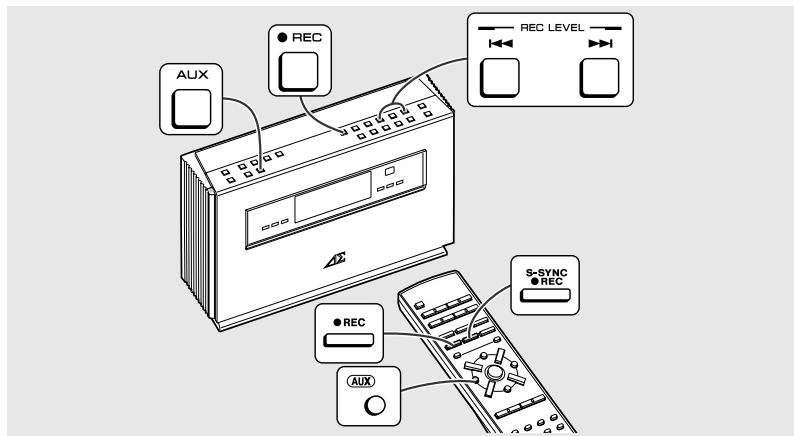
スリープとタイマーを組み合わせて使う

スリープとタイマー再生を使うには

たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CD の音楽で目覚ましをすることができます。

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。

スリープとタイマー録音を使うには

たとえば、CD を聞きながらおやすみになり、おやすみ中にラジオ放送を録音することができます。

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマー録音の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー録音が始まります。

他の機器と接続して使う

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。

他の機器の再生音を聞く

はじめに他の機器の電源を入れます。

1 AUX を押して、"AUX ANALOG (オグジュアリー アナログ)" または "AUX DIGITAL (オグジュアリー デジタル)" を選ぶ。

アナログ入力のとき		デジタル入力のとき
AUX ANALOG (AUX)	⇔	AUX DIGITAL (AUX)

入力が "AUX DIGITAL (オグジュアリー デジタル)" のときは、接続した機器によっては、"NO SIGNAL (ノー シグナル)" と表示されることがあります。

2 接続した機器を再生する。

3 音量を調整する。

音量は、この製品の "VOLUME (ボリューム)" ボタンで調整します。

ヘッドホンを使う

- インピーダンス 16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω）で直径 3.5mm ステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう､十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは､ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

他のステレオなどで聞いたり、録音する

1 本機で、CD や MD を再生する。

2 他のステレオなどで再生音を聞く。

3 他のステレオなどで録音を始める。

ご注意

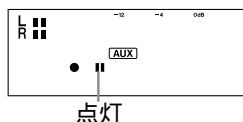
- 他のステレオなどを、この製品の LINE OUT (ライン アウト) 端子と AUX IN (オグジュアリー イン) 端子に同時に接続すると、"ブー" 音（発振音）がでることがあります。このときは、どちらかのコードをはずしてください。
- DAT などのデジタル録音されたものは、音の強さの変化範囲が広くなっていますので、音量を上げすぎないようにしてください。

他の機器との使いかた

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

他の機器と接続して使う（続き）

他の機器の再生音を録音する

1 AUX を押して、"AUX ANALOG（オグジュアリー アナログ）"または"AUX DIGITAL（オグジュアリー デジタル）"を選ぶ。

2 録音用の MD を入れる。

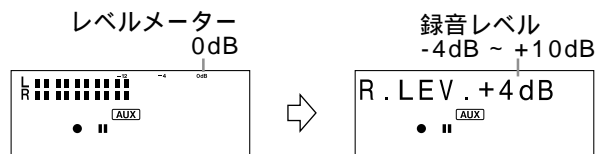
3 ● REC を押す。

点灯

4 他の機器を再生する。

5 REC LEVEL ⏮ または ⏭ を押して、録音レベルを調整する。

レベルメーター 0dB

録音レベル -4dB～+10dB

- 最も大きなレベルで"0dB"をこえないようにします。
- 録音レベルは、-4dB から +10dB まで 2dB ステップで調整することができます。
- 録音レベルは低すぎると音が小さくなり、高くなるとひずみが増えます。
- リモコンの ＜ または ＞ でも調整できます。

6 録音したいところで…MD ►II を押す。

他の機器の再生音と同時に録音する（サウンドシンクロ録音）

1 AUX を押して、"AUX ANALOG（オグジュアリー アナログ）"または"AUX DIGITAL（オグジュアリー デジタル）"を選ぶ。

2 録音用の MD を入れる。

3 リモコンの S-SYNC ●REC を押す。
"S-SYNC"が点灯します。

4 接続した機器を再生する。
- 自動的に録音が始まります。
- 録音レベルは、入力ごとに前回調整したレベルになります。（録音中にも、レベルを調整できます。）

お知らせ

いろいろなデジタル機器が接続可能
この製品には、他のCDプレーヤーやMDレコーダーをはじめ、DAT、BS／CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。
デジタル機器によってはサンプリング周波数の異なるものもあります。（DAT等）
これらの機器についても、この製品で自動切り換えを行い対応しています。
（サンプリングレートコンバータ：32kHz、48kHz→44.1kHz 自動切り換え）

デジタル録音に関するご注意

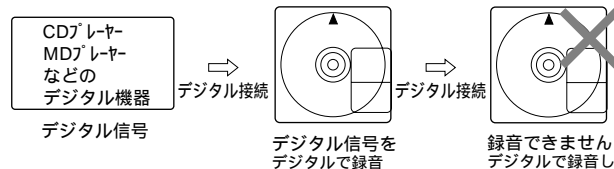
デジタル入力で録音した MD を、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。なお、アナログ入力にはこのような制限はありません。

CDﾌﾟﾚｰﾔｰ MDﾌﾟﾚｰﾔｰ などの デジタル機器 ⇨ デジタル接続

デジタル信号

⇨ デジタル接続

デジタル信号をデジタルで録音

録音できません
デジタルで録音したMDを、さらにデジタル接続で別のMDに録音することはできません。

ＣＤについて

CD の取り扱いについて

■ 使用できるディスクは？

または
マークのついているものです。

■ ディスクの再生面は？

印刷のある面の反対の面です。再生面に触れないでください。

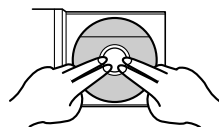
■ ディスクを持つときは？

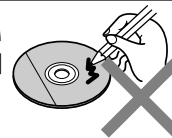
必ずふちを持ってください。

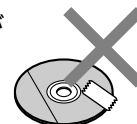
再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

■ ケースからの出し入れは？

出すとき
センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。

入れるとき
文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。

取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは、使用しないでください。
故障の原因となります。

CD のお手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。

矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ● ベンジンやアルコールなどの溶剤
- ● 研磨剤を含むクリーナー
- ● レコード用のクリーナー
- ● 静電防止剤

保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- ● 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- ● 温度の高い所や湿度の高い所。
- ● 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

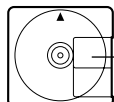
MDの種類について

MDには、再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD

シャッターが片面（裏面）にあります。

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
録音や編集はできません。

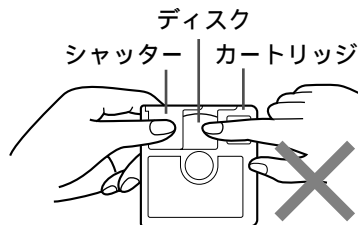
録音・再生用MD

シャッターが両面にあります。

録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

MDの取り扱いについて

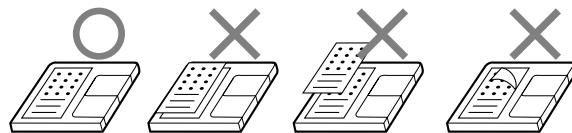
MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

■ ディスクに直接触れないで！

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。

ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約1/10または1/20に圧縮するATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、2倍・4倍のステレオ長時間録音を可能としています。

MDにラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

MDのお手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。
- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

音とびガードメモリー

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって音が途切れることなく再生することができます。

MDのシステム上の制約

こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”が表示されることがあります。	● ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 ● 最大録音曲数（255曲）まで録音されたMDは、録音時間が残っていても、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数（２５５曲）に満たなくても“TOC FULL”が表示されることがあります。	● MDシステムでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（255曲）にならなくても、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 （このようなMDは、オールイレースを行なえば最初から使用できます。）
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	● MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	● 通常は、１クラスタ（約２秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲とをつなげられないことがあります。	● 録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。 録音モード（モノラル録音・ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがある。	● 録音・編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、81ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

共通

時刻の確認をしたとき“TIME ADJUST”が表示される。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
（設定し直してください） ☞ P.22

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。

➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。

音が出ない。

➡ 音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.35
➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.71

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。

➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。
このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

音量が調整できない。

➡ 音声接続用コードを、MD/CD/チューナー部のLINE OUT端子につないでいませんか。
一度電源を切り、SYSTEM OUT端子につなぎ直してください。
☞ P.16、P.18

CD

CDを入れても“CD NO DISC”や“Can't READ”が表示される。

➡ CDの裏表をまちがえていませんか。
➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のCDを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.77

操作ボタンを押しても動作をしない。
また、曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。

➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のCDを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.77

再生音がとぎれる。

➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.77

MD

録音ができない。

➡ MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか。 ☞ P.41
➡ 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。 ☞ P.74
➡“TOC FULL”になっていませんか。 ☞ P.75

MDを入れても“MD NO DISC”や“Can't READ”が表示される。再生音がとぎれる。

➡ ディスクにキズがついていませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.77

ラジオ

放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。

➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.16

放送がよく受信できない。雑音が多い。

➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。
➡ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。 ☞ P.19

登録した放送局を呼び出すことができない。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.34

リモコン

リモコンで操作できない。
または、正しい動作をしない。

➡ 乾電池の⊕ ⊖の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.20
➡ 乾電池が消耗していませんか。
➡ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。 ☞ P.20
➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ☞ P.20
➡ リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 ☞ P.20
➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.18

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。
- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

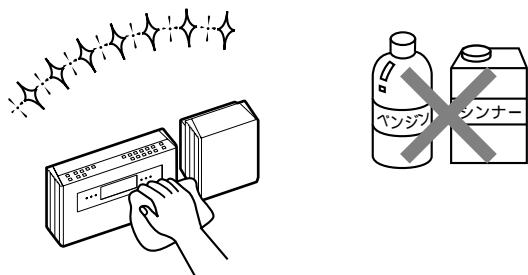
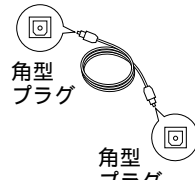
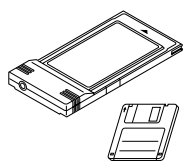
この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、電源コードを抜いて、再度差し込み操作をしてください。

こんな表示が出たときは

表　示	意　味	このようにしてください
BLANK MD	● 何も記録されていない。 （音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音されたMDと取り換える。
Can't COPY	● コピー禁止のものから録音しようとした。	● コピー可能なものから録音する。
Can't EDIT	● MD編集できない。	● 別の曲を編集してみる。
Can't READ※ （※は数字や記号です。）	● ディスクにキズがある。 ● TOC情報が読めない。 ● 規格外のCD、MD。 ● ディスクが表裏逆。	● CD、MDを入れ直すか、取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。
Can't T REC	● タイマー録音ができない。または、MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
Can't WRITE	● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 書き込み中はショックを与えないでください。
CD NO DISC	● CDが入っていない。	● CDを入れる。
DISC FULL	● MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
EDIT OVER	● MDの録音時間が足らない。	● 録音時間のあるMDと取り換える。
Er-MD※※ （※※は数字や記号です。）	● MDが正しく働いていない。	● MD⏏ボタンを押してみる。 ● 電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
MD NO DISC	● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。	● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
NAME FULL	● ディスク名・曲名が40文字をこえている。	● ディスク名・曲名を短くする。
NOT AUDIO	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● MDを取り換える。
PLAYBACK MD	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り換える。
PROTECTED	● MDの誤消去防止ツマミが開いている。	● 誤消去防止ツマミを閉じる。
TEMP OVER	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく置いておく。
TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	● 他のMDと取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
TOC FULL	● 曲番を登録する空きがない。	● 他のMDと取り換える。
TOC FULL 1	● TOCに文字情報を登録する空きがない。	● 他のMDと取り換える。 ● 不用な文字を消す。
WAIT※※mGUARD (※※は数字です。)	● 倍速での録音ができない。	● 表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。
?MD DISC	● データに異常がある。 ● 規格外のMD。 ● MDを挿入中に無理に引き抜いた。	● MD⏏ボタンを押す。 ● 他のMDと取り換える。

お手入れについて

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。

別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

光デジタルケーブル
形式：AD-M1DC

コードの長さ：約1m

光デジタルケーブル
形式：AD-M3DC

コードの長さ：約1m

デジタルサウンドカード
形式：AD-AJ2

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■ 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■ 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。
- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会 ☎（03）5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎（03）3481－2121	横浜支部	☎（045）662－6551
北海道支部	☎（011）221－5088	静岡支部	☎（054）254－2621
盛岡支部	☎（019）652－3201	中部支部	☎（052）583－7590
仙台支部	☎（022）264－2266	北陸支部	☎（076）221－3602
長野支部	☎（026）225－7111	京都支部	☎（075）251－0134
大宮支部	☎（048）643－5461	大阪支部	☎（06）6244－0351
上野支部	☎（03）3832－1033	神戸支部	☎（078）322－0561
東京支部	☎（03）3562－4455	中国支部	☎（082）249－6362
西東京支部	☎（03）3232－8301	四国支部	☎（087）821－9191
東京イベント・		九州支部	☎（092）441－2285
コンサート支部	☎（03）5286－1671	鹿児島支部	☎（099）224－6211
立川支部	☎（042）529－1500	那覇支部	☎（098）863－1228

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約400〜900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード（ACIRC）
音声圧縮/伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) / ATRAC3 24ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル1チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20〜20,000 Hz（+1/-3dB）（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

コンパクトディスクプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20〜20,000 Hz（+1/-3dB）（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

チューナー部

受信周波数	FM：76.0〜108.0 MHz（TV音声 1〜3CH） AM：522〜1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM（75Ω）、AM、アース

タイマー／時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	1日1回 ON/OFF可能

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単4乾電池×2個）

共通部

入力端子	デジタル外部入力：角型光入力×1 アナログ外部入力：500mV（47kΩ） ピンジャック（L/R）×1
出力端子	システム音声出力：ピンジャック（L/R）×1 アナログ外部出力：500mV（47kΩ） ピンジャック（L/R）×1 ヘッドホン出力： 16〜50Ω（推奨32Ω） 直径3.5mmステレオミニジャック×1
システム端子	角型専用端子×1
最大外形寸法	318（幅）×210（高さ）×93（奥行）mm（EIAJ）
質量	約3.7 kg

アンプ／トランス部

実用最大出力	25W＋25W（４Ω負荷、１kHz時）（EIAJ）
A/Dノイズシェーピング	7次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調
入力端子	システム音声入力：ピンジャック（L/R）×1
出力端子	スピーカー出力：4Ω
システム端子	角型専用端子×1
電源	100V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 60W
最大外形寸法	160（幅）×210（高さ）×153（奥行）mm（EIAJ）
質量	約3.7 kg

本製品は、家庭用・汎用品電源高調波抑制ガイドライン※に適合しています。
※ 電力供給設備等に影響を与えない為の機器電流波形歪み防止基準

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は1ビットデジタルシステムの補修用性能部品を、製造打切後８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（82～83ページ）にお問い合わせください。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「“故障かな？”と思ったら」（76～77ページ）を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず 電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名：
形名：
お買いあげ日　（ 年 月 日）
故障の状況　（できるだけ具体的に）
ご住所　（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お名前
電話番号
ご訪問希望日

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　－

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口一覧表

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は－－－『修理ご相談窓口』へ
  （注）＊印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
- 製品に対するご意見・ご要望などは－－－－－－－『一般ご相談窓口』へ

修理ご相談窓口

出張修理ご相談はCSセンターにご連絡ください。
受付時間　月曜日～土曜日　午前9時～午後5時40分
＊日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	**(011)641-4690**	
	＊札幌	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪435
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3丁目17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通4丁目左10
	函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	CSセンター	**(022)288-9250**	
	＊宮城	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
山形県	山形	(023)631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ケ丘37-10
新潟県	CSセンター	**(025)285-1513**	
	＊新潟	(025)285-3663	新潟市上所中1-7-21
	＊長岡	(0258)23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊栃木	(028)637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	＊小山	(0282)62-5466	栃木県下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊群馬	(027)252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊茨城	(029)241-4930	水戸市千波町1963
	＊南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原2857-9

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
埼玉県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊埼玉中央	(048)666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	＊埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島346-1
東京都	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊江東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原2-12-3
	＊城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15
	＊城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町1-33-11
	＊世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18
	＊田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端2-13-17
	＊三多摩	(042)586-6059	日野市日野台5-5-4
千葉県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊千葉	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	＊西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台295-1
	＊東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東2779-4
	＊木更津	(0438)37-7912	木更津市請西2-5-22
神奈川県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊横浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原1-2-23
	＊湘南	(0463)54-4738	平塚市田村1381
	＊相模原	(0427)59-4195	相模原市横山2-2-12
山梨県	CSセンター	**(03)5692-7722**	
	＊山梨	(055)228-5375	甲府市富竹2-1-17
静岡県	CSセンター	**(054)285-9360**	
	＊静岡	(054)285-9340	静岡市曲金6-8-44
	＊沼津	(0559)22-5249	沼津市宮前町11-4
	＊浜松	(053)463-4680	浜松市植松町1476-2
長野県	CSセンター	**(026)293-6612**	
	＊松本	(0263)27-4694	松本市芳野8-14
	＊長野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
愛知県	CSセンター	**(052)332-5880**	
	＊名古屋	(052)332-2623	名古屋市中川区山王3-5-5
	＊岡崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町1-21
	＊豊橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口17-1
岐阜県	CSセンター	**(052)332-5880**	
	＊岐阜	(058)273-4969	岐阜市六条南3-12-9
三重県	CSセンター	**(052)332-5880**	
	＊三重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	CSセンター	**(076)269-1875**	
	＊富山	(076)451-2459	富山市金泉寺71-1
石川県	CSセンター	**(076)269-1875**	
	＊金沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町1096-1
福井県	CSセンター	**(076)269-1875**	
	＊福井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町625

（2000.12）

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊滋賀	(077)545-4692	大津市栗林町11-35
	＊彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町133
京都府	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊京都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町48
	＊北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町6-13
大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	
	＊大阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	＊堺	(0722)45-4651	堺市老松町1-39
	＊大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19
	＊南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢1215
	＊北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川5-15-3
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊兵庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	＊神戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	＊阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10
	＊姫路	(0792)66-1819	姫路市青山5-7-7
	＊豊岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊奈良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町492
	＊奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原4-3
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里2-4-91
	＊南紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町441-1
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	
	＊岡山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾828
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	
	＊松江	(0852)24-4810	松江市西津田3-1-10
広島県	CSセンター	(082)874-8071	
	＊広島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原2-13-4
	CSセンター	(0824)28-7448	
	＊東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	CSセンター	(0849)51-7644	
	＊福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地
山口県	CSセンター	(083)972-0870	
	＊山口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町4-12
	＊東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井173-1
香川県	CSセンター	(087)823-5513	
	＊香川	(087)823-4901	高松市朝日町6-2-8
徳島県	CSセンター	(088)625-4684	
	＊徳島	(088)625-4654	徳島市中常三島町3-11-14
愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	
	＊愛媛	(089)971-4563	松山市高岡町178-1
高知県	CSセンター	(0888)82-4021	
	＊高知	(0888)82-4635	高知市高須960-1

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	
	＊福岡	(092)572-4652	福岡市博多区井相田2-12-1
	＊南福岡	(0942)45-8211	久留米市御井旗崎3-7-14
	＊北九州	(093)592-4677	北九州市小倉北区大手町6-12
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	
	＊佐賀	(0952)24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松篭2043-2
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	
	＊長崎	(0957)52-3511	大村市古賀島町613-3
	佐世保	(0956)32-6666	佐世保市白岳町107-5
大分県	CSセンター	(097)552-9416	
	＊大分	(097)552-2313	大分市松原町3-5-3
熊本県	CSセンター	(096)366-7070	
	＊熊本	(096)364-4777	熊本市新屋敷3-15-17
	天草	(0969)23-8711	本渡市港町19-3
宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	
	＊宮崎	(0985)31-1832	宮崎市原町4-12
鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
	＊鹿児島	(099)253-4600	鹿児島市鴨池新町12-1

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙2-10-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里214-4
鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

窓口	電話番号	所在地
東日本相談室	TEL (043)297-4649 FAX (043)299-8280	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL (06)6621-4649 FAX (06)6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

受付時間　月曜日～土曜日　午前9時～午後6時
＊日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

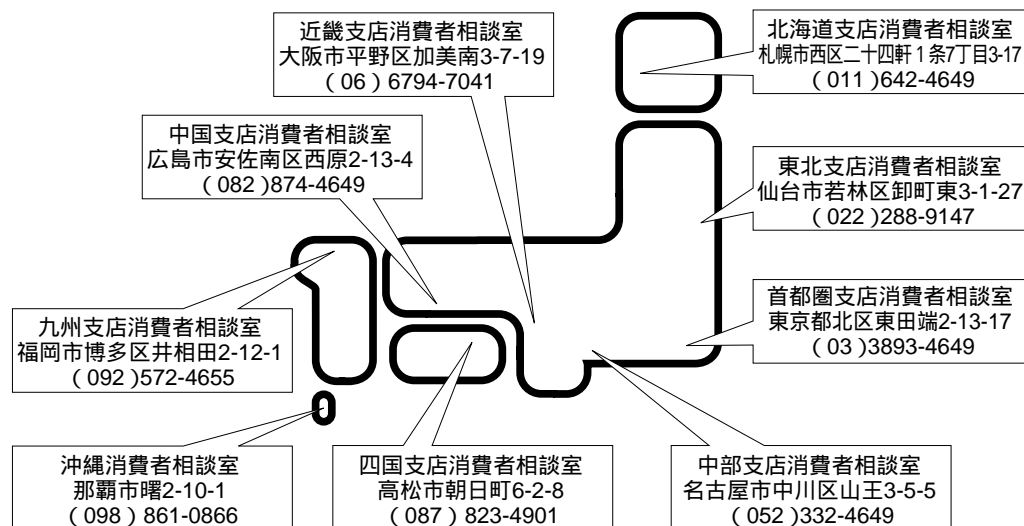
シャープエンジニアリング株式会社

窓口	電話番号	所在地
北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
東北支店　消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17
中部支店　消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721 名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店　消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店　消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店　消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州支店　消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1

受付時間　月曜日～金曜日　午前9時～午後5時40分　(2000.12)
＊土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室、
またはお客様ご相談窓口へお申しつけください。
（くわしくは、82～83ページをごらんください。）

シャープ株式会社

本　　　　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話（06）6621-1221（大代表）
AVシステム事業本部	〒739-0192	東広島市八本松飯田２丁目13番１号 電話（0824）28-2401（大代表）

Printed in Malaysia
TINSJ0114AWZZ
A0104.YM.YT